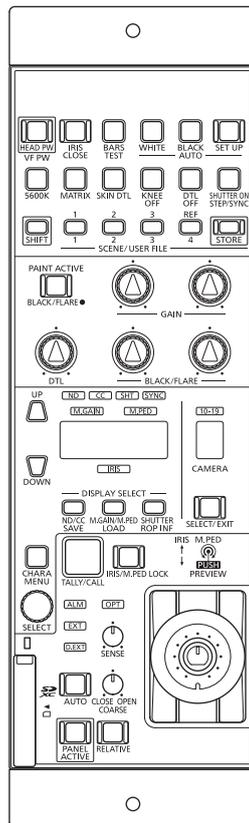


取扱説明書

リモートオペレーションパネル

品番

AK-HRP250G



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に、「安全上のご注意」（3～5ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

目次

安全上のご注意（必ずお守りください。）	3	SAVEメニュー	36
はじめに	6	SAVEメニューの操作のしかた	36
本書の見かた	6	LOADメニュー	39
商標および登録商標について	6	LOADメニューの操作のしかた	39
著作権について	6	ROP INFメニュー	42
本書内のイラストや画面表示について	6	ROP INFメニューの操作のしかた	42
個人情報の保護について	6	カメラ番号の変更（Cn）	44
略称について	6	プザーの切り替え（bu）	45
概要	7	タリー通知の切り替え（tLy）	45
おしらせ	8	タリー出力をするカメラの設定（tLy.n）	45
必要なパーソナルコンピューター環境	8	IPアドレスの表示（iP）	46
免責について	8	サブネットマスクの表示（Sb）	46
ネットワークに関するお願い	8	デフォルトゲートウェイの表示（dF）	46
ユーザー認証について	8	受信ポート番号の表示（Port）	46
使用時の制約事項	9	MACアドレスの表示（Addr）	46
メモリーカードについて	9	設定の初期化（int）	47
アップグレード用ソフトウェアについて	9	システムバージョンの表示（Sno.）	47
周辺機器のソフトウェアについて	9	ボタン/インジケーターの明るさ（LEd）	47
各種ファイルについて	9	調整値表示部/カメラ管理番号表示部の明るさ（7SEG）	47
特長	10	アイリス制御の優先度（i.cnt）	48
使用上のお願い	11	[IRIS]レバーの可動範囲（iriS）	48
設置上のお願い	12	ソフトウェア	49
ラックマウント用金具の取り付け/取り外し	13	IP接続	49
ラックへの取り付け（ラックマウント）	13	IP接続の手順について	49
接続	14	パーソナルコンピューターの接続、設定	49
動作モード	14	機器のIPアドレスの設定	49
動作モードの設定手順について	14	ROPの各種設定	50
システム接続構成	15	ROPセットアップソフトウェア	51
CCUとの接続	15	ソフトウェアをインストールする	51
各部の名前とはたらき	17	パーソナルコンピューターの設定を行う	51
前面パネル1	17	ROPセットアップソフトウェアの画面	51
前面パネル2	19	ROPセットアップソフトウェアのご使用に関するお知らせ	52
前面パネル3	20	本機の機器設定を行う[Configuration]	52
前面パネル4	22	カメラとの接続設定をする[Camera List]	53
コネクター	24	ネットワーク上にあるカメラの情報を取得する[Auto IP Cam Assign]	54
調整と設定	25	ユーザー認証の設定を行う[User Auth]	55
オートセットアップ	25	資料	56
オートセットアップのしかた	25	コネクターピンアサイン表	56
シーンファイル	26	1 〈CCU〉コネクター	56
シーンファイルの登録と呼び出しのしかた	26	2 〈LAN〉コネクター	56
PAINT LOCK	27	3 〈PREVIEW〉コネクター	56
PAINT LOCKの使い方	27	外形寸法図	57
NDフィルター	28	保証とアフターサービス（よくお読みください）	58
NDフィルターの表示と設定のしかた	28	修理を依頼されるとき	58
CCフィルター	29	定格	59
CCフィルターの表示と設定のしかた	29	総合	59
マスターゲイン（M.GAIN）	30	索引	60
マスターゲイン（M.GAIN）の表示と設定のしかた	30		
シャッター（SHUTTER）	31		
シャッター（SHUTTER）の表示と設定のしかた	31		
マスターペDESTAL（M.PED）	32		
マスターペDESTAL（M.PED）の表示と設定のしかた	32		
アイリス（IRIS）	33		
アイリス（IRIS）の表示と設定のしかた	33		
カメラの選択	35		
SAVE/LOAD/ROP INFメニュー	36		

安全上のご注意（必ずお守りください。）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

    	してはいけない内容です。
 	実行しなければならない内容です。

 警告	
	<p>■本機の設置や接続工事は販売店に依頼する （設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。） ⇒必ず販売店に依頼してください。</p>
	<p>■電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしな い （火災や感電の原因となります。）</p>
異常、故障時には直ちに使用を中止する	
 電源プラグを抜く	<p>■異常があったときは、ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルを抜く 〔内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき〕 （そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。） ⇒本機を電源から完全に遮断するには、ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルを抜く必要があります。 ⇒お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルは、根元まで確実に差し込む （差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。） ⇒傷んだケーブルやゆるんだケーブルのまま使用しないでください。 （ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。）</p>
	<p>■ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルのほこりなどは、定期的にとる （本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。）</p>
	<p>■付属品・オプションは、指定の製品を使用する （本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。）</p>
	<p>■ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルが破損するようなことはしない 〔傷つける、加工する、高温部や熱機器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど〕 （傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。） （ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。）</p>
	<p>■内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない （ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。） ⇒機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</p>
	<p>■不安定な場所に置かない （落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。）</p>

 警告	
 分解 禁止	<p>■分解や改造をしない （内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。） ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 接触 禁止	<p>■雷が鳴り出したら、本機やROPケーブル、PoE給電のLANケーブルには触れない （感電の原因になります。）</p>
 水場使 用禁止	<p>■水場で使用しない （火災や感電の原因になります。）</p>
 ぬれ手 禁止	<p>■ぬれた手でROPケーブル、PoE給電のLANケーブルやコネクタに触れない （感電の原因になります。）</p>
	<p>■振動や強い衝撃を与えない （火災や感電の原因となります。）</p>
	<p>■開口部に手を入れない （けがや感電の原因となります。）</p>
	<p>■メモリーカード（別売品）は乳幼児の手の届くところに置かない （誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。） ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>

⚠ 注意

	<p>■本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない、横倒し、逆さまにしない] （内部に熱がこもり、火災の原因になります。）</p> <p>■油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない （電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。）</p> <p>■直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない （特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。） ⇒ 本機を絶対に放置しないでください。</p> <p>■ROPケーブルやPoE給電のLANケーブル、コネクタを抜くときは、コードを引っ張らない （コードが傷つき、火災や感電の原因になります。） ⇒ 必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。</p> <p>■本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない （落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。）</p> <p>■コードを接続した状態で移動しない （コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。）</p> <p>■落としたり、破損させたりしない （本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。） ⇒ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>
 電源プラグを抜く	<p>■長期間使用しないときや、お手入れのときは、ROPケーブルとPoE給電のLANケーブルを本機から抜く （火災や感電の原因になります。）</p>
	<p>■1年に1度ぐらいいは、販売店に内部の掃除の相談をする （本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。）</p>

■本製品（付属品を含む）に表示の記号は以下を示しています。（本機では表示されていないシンボルもあります。）

	電源ON
⏻	スタンバイ (OFF)
~	AC (交流)
=	DC (直流)
⏚	クラスII機器 (二重絶縁構造)

はじめに

本書の見かた

商標および登録商標について

- Microsoft[®]、Windows[®] 10、Microsoft EdgeおよびInternet Explorer[®] は、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel[®] Core™は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為には禁じられています。

本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当しません。^{*1}

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

*1：経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードは、いずれも「メモリーカード」と記載しています。それぞれを分けて説明する場合は、個別に記載しています。
- スタジオハンディカメラを「カメラ」と記載しています。
- カメラコントロールユニットを「CCU」と記載しています。
- リモートオペレーションパネルを「ROP」と記載しています。

また本書では、機器の品番を次のように記載しています。

機器の品番	本書での記載
AK-HC3900	AK-HC3900
AK-HC3900S	
AK-UC3300	AK-UC3300
AK-UC3300S	
AK-HCU250	AK-HCU250
AK-HCU250S	
AK-UCU600	AK-UCU600
AK-UCU600S	

概要

本機はスタジオハンディカメラ（AK-HC3900：別売品、AK-UC3300：別売品）およびカメラコントロールユニット（AK-HCU250/AK-UCU600：別売品）を制御するリモートオペレーションパネルです。

スタジオハンディカメラとカメラコントロールユニット間は、専用の光ファイバーマルチケーブルで接続し、本機とカメラコントロールユニット間は、ROPケーブルまたはIPで接続します。

IP接続時は、カメラコントロールユニットを最大19台制御することができます。

おしらせ

必要なパーソナルコンピューター的环境

本機に付属するソフトウェアは、下記のWebサイトに示すパーソナルコンピューターでご使用ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- 取り付け方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- 本体やメモリーカードまたはパーソナルコンピューターに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用する機能もあります。

ネットワークへ接続して使用するときには、以下のような被害を受けることが考えられます。

- 本機を経由した情報の漏えいや流出
- 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアーウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。

また、以下の点にもご注意ください。

- 本機やケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

ユーザー認証について

ネットワークに接続する場合、本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないためには、ユーザー認証を有効にしてアクセスを制限するなどの対策を実施してください。

使用時の制約事項

接続する機器のネットワーク環境は、本機のネットワーク設定と同一のセグメントを推奨します。

セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。

メモリーカードについて

本機で使用するメモリーカードは、SDHC規格/SDXC規格に準拠したものをお使いください。

また、メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

本機では、下記の容量のメモリーカードが使用できます。なお、マルチメディアカード（MMC）には対応していません。

SDHC:	4 GB ~ 32 GBまで
SDXC:	64 GB

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のWeb サイトをご参照ください。

（日本語） https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

（英語） <https://pro-av.panasonic.net/>

使用時、保管時は次の点にお気をつけください。

- 高温・多湿を避ける。
- 水滴を付けない。
- 帯電を避ける。

アップグレード用ソフトウェアについて

アップグレード用ソフトウェアは、下記のWeb サイトの「サポート&ダウンロード」から入手することができます。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

アップグレードの手順は、ダウンロードファイルに含まれている手順書に従って行ってください。

周辺機器のソフトウェアについて

本機に接続する周辺機器（カメラ、CCU）は、ソフトウェアのアップデートが必要な場合があります。

詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

各種ファイルについて

シーンファイル	主にビデオエンジニアが扱う絵作り用データです。 カメラで管理します。
リファレンスファイル	操作用データを除いた機器設定データです。 カメラで管理します。
ユーザーファイル	カメラが保持している機器設定データです。 カメラで管理します。
レンズファイル	ビデオエンジニアが扱うレンズ固有の特性を補正するデータです。 カメラで管理します。
接続設定ファイル	本機とカメラを接続するための接続設定データです。
ROP設定ファイル	本機固有の設定データです。

NOTE

- カメラで管理されているファイル（シーンファイル、リファレンスファイル、ユーザーファイル、レンズファイル）のデータの内容については、カメラの取扱説明書をご参照ください。

特長

- 本機はスタジオハンディカメラ（AK-HC3900/AK-UC3300）およびカメラコントロールユニット（AK-HCU250/AK-UCU600）を制御するリモートオペレーションパネルです。
- メモリーカードへシーンファイルやユーザーファイル、レンズファイルを保存できます。
- シリアル接続で、CCU（AK-HCU250/AK-UCU600）を1台接続することができます。
- ネットワークハブ（スイッチングハブ）（100base-TX）を介して最大19台までのCCUを接続することによって、専用のROPケーブルが不要となります。
- 本機は、PoE*¹ 搭載です。PoE規格対応のネットワーク機器（IEEE802.3af準拠）*² に接続できます。
- ROPセットアップソフトウェアを使って、カメラ接続や本機の設定が行えます。

*1：Power over Ethernetの略です。以降「PoE」と表記いたします。

*2：動作確認済みのPoE給電装置については、販売店もしくは当社のサービス窓口にお尋ねください。

使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

■ 取り扱いはていねいに

- 落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。また、[IRIS]レバーを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

■ 使用温度範囲は、0℃～40℃でお使いください

- 0℃を下回る寒いところや、40℃を超える暑いところでは内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

■ ケーブルの抜き差しは電源を切ってから

- ケーブルの抜き差しは、本機の電源が切れている状態で行ってください。

■ 湿気、ほこりの少ないところで

- 湿気、ほこりの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。

■ お手入れは

- 電源を切って乾いた布で拭いてください。
汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。

NOTE

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

■ 火を近づけないでください

- ろうそく等の炎を機器の近くに置かないでください。

■ 水をかけないでください

- 直接水をかけないでください。故障の原因になります。

■ 廃棄のときは

- 本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

設置上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機を設置するときや接続工事を行うときは、必ず、販売店に依頼してください。

■ ケーブルの接続について

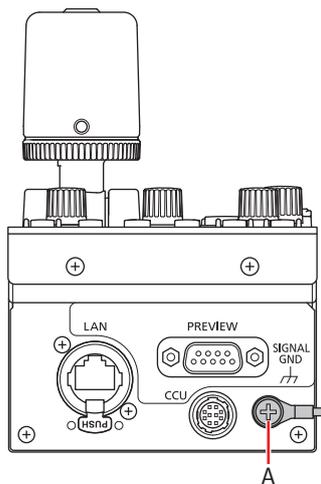
- 必ず専用のROPケーブル（平河ヒューテック製ケーブル20379-FG-SV-10相当品）を使用してください。
- 長時間使用しないときは、節電のためROPケーブルを本機から抜いてください。

■ PoE給電について

- 本機は、IEEE802.3afに準拠しています。PoE給電時には、対応したイーサネットハブ、およびPoEインジェクターをご使用ください。
動作確認済みイーサネットハブ、およびPoEインジェクターについては、販売店にお問い合わせください。

■ 接地について

- 本体の〈SIGNAL GND〉端子から接地を行ってください。



A. 〈SIGNAL GND〉端子

■ 取り扱いには注意

- 落としたり、強い衝撃や振動を与えたりすると、故障や事故の原因になります。

■ 内部に異物を入れないでください。

- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

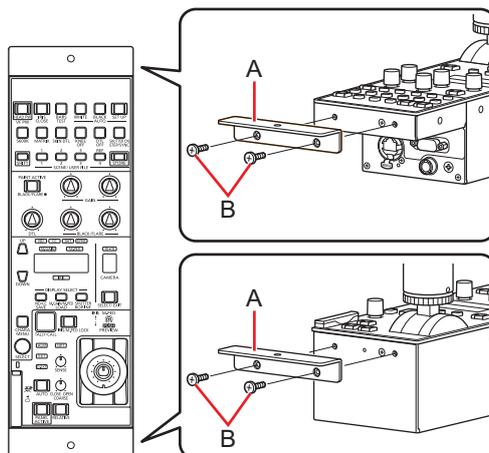
■ 設置場所について

- 本機は、屋内専用の機器です。
- 十分な強度があり、安定した水平な場所に置いて使用してください。
- パネルやテーブルに埋め込んで使用する場合は、通気と配線の空間を十分に確保してください。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください。
- 0℃以下の寒いところや、40℃以上の暑いところに設置しないでください。
- 直射日光の当たるところや温風の吹き出し口付近への設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。

ラックマウント用金具の取り付け/取り外し

ラックマウント用金具は、工場出荷時にあらかじめ本機に取り付けられています。

ラックマウント用金具をお客様にて取り外される場合は、取り付けねじ（4本）をプラスドライバーで取り外してください。



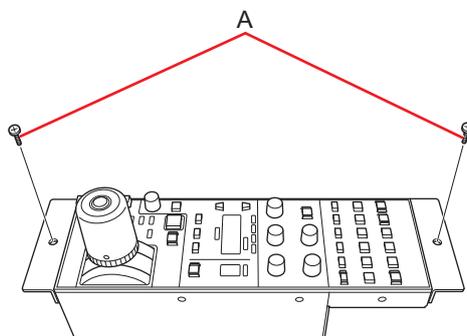
- A. ラックマウント用金具
B. 取り付けねじ

- 取り外したラックマウント用金具と取り付けねじは、大切に保管してください。
- 再度、ラックマウント用金具を取り付ける場合は、取り付けねじ（4本）で、締め付けトルク: 50 N・cm以上を目安として取り付けてください。

ラックへの取り付け（ラックマウント）

本機を固定ねじ（2本）でラックに取り付けてください。

- 固定ねじは本機に付属していません。φ5の穴に適用するねじをあらかじめご準備ください。
- ラック内の温度は0℃～40℃に保ってください。



- A. 固定ねじ（市販品）

接続

動作モード

動作モードの設定手順について

本機で以下の手順を行ってください。設定には「ROPセットアップソフトウェア」を使用します。

1. カメラの接続設定ファイルをメモリーカードに保存する
➡ 「SAVEメニュー」 (36ページ参照)
2. ROPセットアップソフトウェアで1.のデータを読み込み、接続設定を行う
設定はROPセットアップソフトウェアの[Configuration]タブ、[Camera List]タブ、[Auto IP Cam Assign]タブおよび[User Auth]タブで行います。
➡ 「ROPセットアップソフトウェア」 (51ページ参照)
3. 2.で作成したデータをメモリーカードから本機に読み込む
➡ 「LOADメニュー」 (39ページ参照)

NOTE

- 運用中にROPセットアップソフトウェアを起動させないでください。ROPの接続が切れ、運用に支障をきたすおそれがあります。

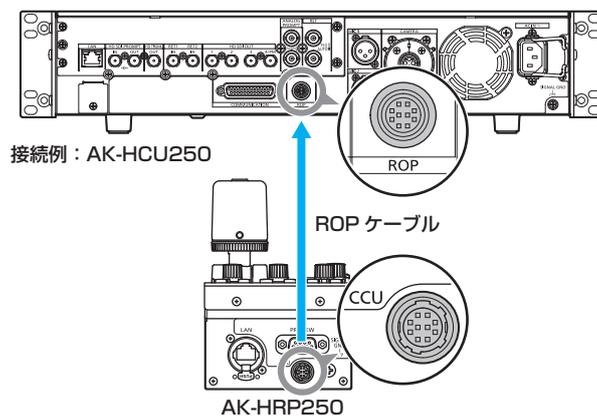
システム接続構成

本機は、CCUをシリアル接続もしくはIP接続することができます。

- CCUを最大19台まで制御可能です。
- シリアル接続は、CCU1台のみ可能です。
- シリアル接続1台とIP接続18台の構成も可能です。

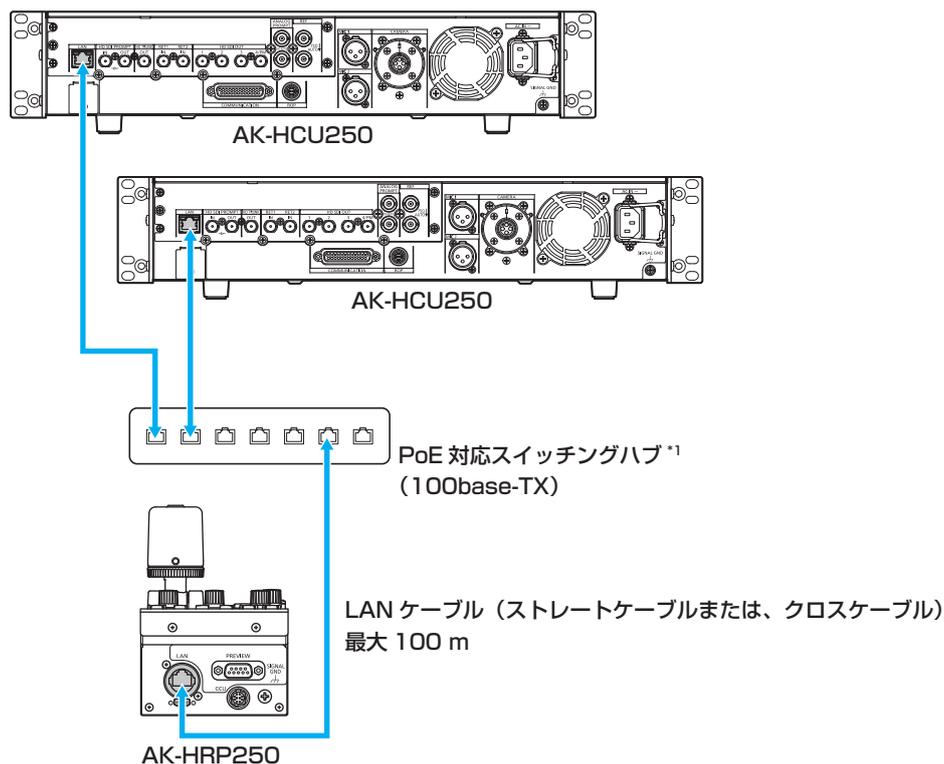
CCUとの接続

シリアル接続



1. 本機の〈CCU〉コネクタと、CCUの〈ROP〉コネクタを専用のROPケーブル（別売品）で接続する
2. 接続が完了したら、CCUの主電源をONにする
 - カメラが接続されていない場合は、本機からCCUへの制御機能は一部制限されます。
 - ROPケーブルを外す前に、必ずCCUの電源をOFFにしてください。

IP接続



*1 : CCUはPoEには対応していません。

1. スイッチングハブに本機の〈LAN〉コネクタと、CCU背面の〈LAN〉コネクタをLANケーブル (別売品) で接続する

- 本機はPoE給電で動作いたします。PoE対応スイッチングハブをご使用ください。
- LANケーブル^{*2}は、ストレートケーブルまたはクロスケーブル (カテゴリ5e以上) をご使用ください。(最大100 m)

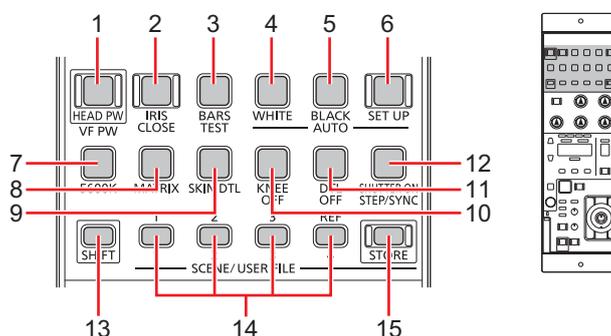
*2 : STP (Shielded Twisted Pair)

2. 接続が完了したら、CCUの電源をONにする

- カメラが接続されていない場合は、本機からCCUへの制御機能は一部制限されます。
- 本機から最大19台までのCCUを制御可能です。
- CCUとIP接続で使用する場合は、ROPセットアップソフトウェアによる設定が必要です。
➡ 「ROPセットアップソフトウェア」 (51ページ参照)

各部の名前とはたらき

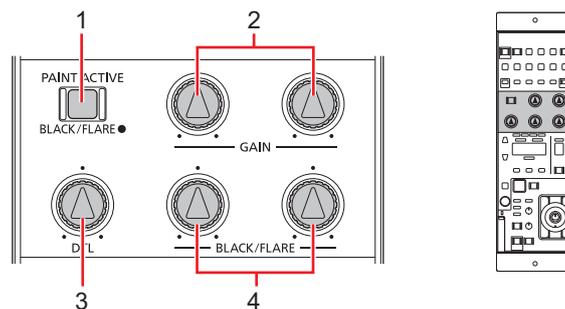
前面パネル1



1	[HEAD PW/VF PW]ボタン	<p>カメラの電源をリモート制御します。ただし、CCUの電源およびカメラ自体の電源が入っていない場合は本機能は動作しません。 押すたびにカメラの電源ON/OFFを切り替えます。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯（緑）： カメラの電源がONの状態 点灯（赤）： カメラ側で電源OFFされている状態 点滅（赤）： 本機から電源OFFされている状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ カメラを外部DC電源で使用している場合は点灯（緑）となり、本機からカメラ電源のリモート操作はできません。 <p>[SHIFT]ボタンを押してから[HEAD PW/VF PW]ボタンを押すと、ビューファインダーの電源をリモート制御します。 押すたびにビューファインダーの電源ON/OFFが切り替わります。 本機でカメラの電源をONにした場合は、ビューファインダーの電源も同時にONになります。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯（緑）： カメラとビューファインダーの電源がONの状態 消灯： 本機からビューファインダーの電源がOFFされている状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ONのときには、[SHIFT]ボタンの点灯/消灯でビューファインダーの電源状態を確認できます。
2	[IRIS CLOSE]ボタン	<p>アイリスを強制的にCLOSE（閉）します。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： アイリスを強制的にCLOSE 消灯： アイリスのCLOSEを解除</p>
3	[BARS/TEST]ボタン	<p>CCU背面のカメラ映像出力からCCUカラーバー信号を出力できます。 映像信号がカメラまたはカラーバー信号のとき、[BARS/TEST]ボタンを長押しするとTEST信号に切り替わります。TEST信号のときに、[BARS/TEST]ボタンを押すとカメラ映像に切り替わります。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯（アンバー）： CCUカラーバーON 点灯（緑）： TEST信号ON 消灯： カメラ映像</p>
4	[AUTO WHITE]ボタン	<p>オートホワイトバランス調整を実行します。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： オートホワイトバランス調整の起動を受け付けたことを示します。 点滅： オートホワイトバランス調整の終了後、ホワイトバランスが十分に取れていないことを警告しています。 ハイライト、ローライトでNGの場合は、元のホワイトバランスに戻します。その他の理由で十分にホワイトバランスが取れない場合には、収束された最後の状態で終了します。 消灯： オートホワイトバランス調整が良好に終了したことを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ホワイトバランス調整中（点灯中）に[AUTO WHITE]ボタンを押すと、調整を中止して消灯します。このときホワイトバランス値は、オートホワイトバランス実行前の状態に戻ります。

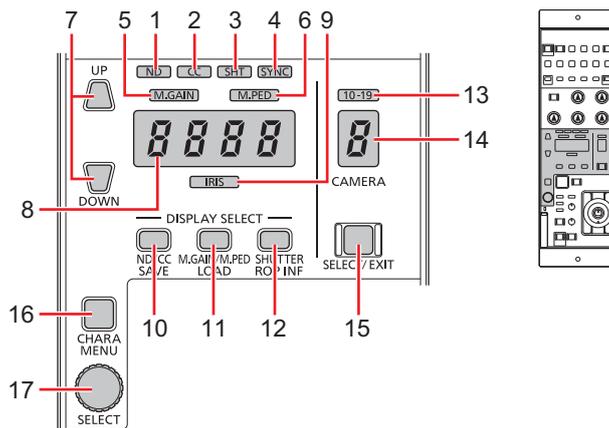
5	[AUTO BLACK]ボタン	<p>オートブラックバランス調整を実行します。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： オートブラックバランス調整の起動を受け付けたことを示します。</p> <p>点滅： オートブラックバランス調整の終了後、ブラックバランスが十分に足りていないことを警告しています。オートブラックバランスを起動する前の状態に戻ります。</p> <p>消灯： オートブラックバランス調整が良好に終了したことを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ブラックバランス調整中（点灯中）に[AUTO BLACK]ボタンを押すと、調整を中止して消灯します。このときブラックバランス値は、オートブラックバランス実行前の状態に戻ります。
6	[AUTO SET UP]ボタン	<p>オートセットアップを実行します。</p> <p>セットアップの状況は、CCUのピクチャーモニター（PM）に出力されます。</p> <p>➡ 「オートセットアップ」（25ページ参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラがオートセットアップに対応している場合に機能します。非対応のカメラでは動作しません。
7	[5600K]ボタン	<p>色温度を5600Kに設定します。押すたびにON/OFFが切り替わります。</p> <p>状態表示（押しかた）</p> <p>点灯： ON</p> <p>消灯： OFF</p>
8	[MATRIX]ボタン	<p>マトリックスメモリーの各色成分のゲイン調整値にもとづいて、彩度と色相を補正する機能を有効にします。</p> <p>押すたびにON/OFFが切り替わります。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： ON</p> <p>消灯： OFF</p>
9	[SKIN DTL]ボタン	<p>映像出力で肌色の部分のディテール強調にコアリングをかけ、肌色のディテールを緩和、強調します。</p> <p>押すたびにON/OFFが切り替わります。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： ON</p> <p>消灯： OFF</p>
10	[KNEE OFF]ボタン	<p>ニー機能のON/OFFを設定します。押すたびにON/OFFが切り替わります。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： OFF</p> <p>消灯： ON</p>
11	[DTL OFF]ボタン	<p>ディテールの効果のON/OFFを設定します。押すたびにON/OFFが切り替わります。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： OFF</p> <p>消灯： ON</p>
12	[SHUTTER ON] (STEP/SYNC) ボタン	<p>シャッターをON/OFFします。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯（アンバーまたは緑）： ON</p> <p>消灯： OFF</p> <p>ボタンを長押しすると、ステップシャッター/シンクロシャッターを切り替えます。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯（緑）： シンクロシャッター</p> <p>点灯（アンバー）： ステップシャッター</p>
13	[SHIFT]ボタン	<p>他のボタンの機能を切り替えます。ボタンを押して点灯させると、アンバーで印字されているボタンの機能を操作することができます。</p>
14	[1]/[2]/[3]/[4] (SCENE/USER FILE) ボタン	<p>ボタンに該当するシーンファイルを必要に応じて呼び出します。</p> <p>➡ 「シーンファイル」（26ページ参照）</p> <p>[SHIFT]ボタンを押してから[1]～[4]ボタンを押すと、ユーザーファイルやリファレンスファイル呼び出します。</p>
15	[STORE]ボタン	<p>シーンファイルを登録するときに使用します。</p> <p>➡ 「シーンファイルの登録のしかた」（26ページ参照）</p> <p>[SHIFT]ボタンを押してから[STORE]ボタンを押すと、[1]～[3]ボタンで指定した番号にユーザーファイルを保存します。</p>

前面パネル2



1	[BLACK/FLARE] (PAINT ACTIVE) ボタン	<p>短押しすると、[BLACK/FLARE]ダイヤルの機能を切り替えます。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯 (アンバー) : ペダスタル (赤、青) の調整用ダイヤルとして使用します (初期値)。</p> <p>点灯 (緑) : フレア (赤、青) 調整用ダイヤルとして使用します。</p> <p>長押しすると[GAIN]ダイヤル、[BLACK/FLARE]ダイヤル、[DTL]ダイヤルの機能を無効にします (ボタン消灯)。再度押しと、無効にする前の状態に戻ります。</p>
2	[GAIN]ダイヤル (赤、青)	<p>ホワイトバランス (赤、青) の調整用ダイヤルです。</p> <p>ダイヤルを回すと、ゲインコントロール値が変化します。</p>
3	[DTL]ダイヤル	<p>ディテールの加減調整用ダイヤルです。</p>
4	[BLACK/FLARE]ダイヤル (赤、青)	<p>ペダスタル (赤、青) もしくはフレア (赤、青) の調整用ダイヤルです。</p> <p>ダイヤルを回すと、ペダスタルもしくはフレアのコントロール値が変化します。</p> <p>どちらの調整を行うかは[BLACK/FLARE] (PAINT ACTIVE) ボタンで切り替えます。</p>

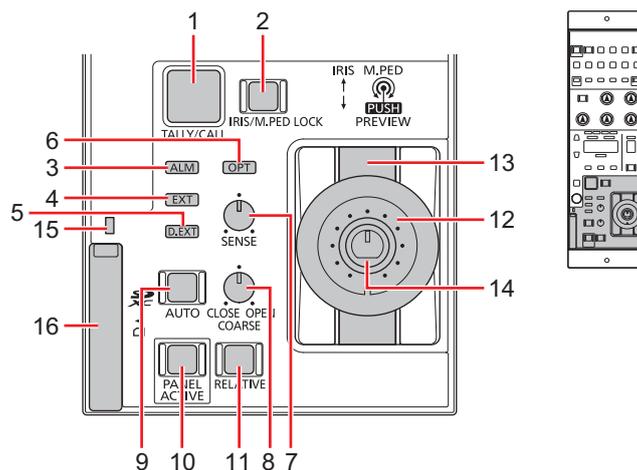
前面パネル3



1	[ND]インジケータ	調整値表示部にNDフィルターの調整値を表示しているときに点灯します。 点灯（緑）： 設定値が「1」の状態 点灯（アンバー）： 設定値が「1」以外の状態
2	[CC]インジケータ	調整値表示部にCCフィルターの調整値を表示しているときに点灯します。 点灯（緑）： 設定値が「A」の状態 点灯（アンバー）： 設定値が「A」以外の状態
3	[SHT]インジケータ	調整値表示部にシャッタースピードの設定値を表示しているときに点灯します。
4	[SYNC]インジケータ	調整値表示部にシンクロシャッターの設定値を表示しているときに点灯します。
5	[M.GAIN]インジケータ	調整値表示部にマスターゲインの調整値を表示しているときに点灯します。 点灯（緑）： 設定値が「0」の状態 点灯（アンバー）： 設定値が「0」以外の状態
6	[M.PED]インジケータ	調整値表示部にマスターペダスタルの調整値を表示しているときに点灯します。 点灯（緑）： 設定値が「0」の状態 点灯（アンバー）： 設定値が「0」以外の状態
7	[UP/DOWN]ボタン	調整値表示部に表示している設定を上下ボタンで選択します。
8	調整値表示部	調整値や設定値を表示します。表示内容は以下のボタンで切り替えます。 [ND/CC] (SAVE) ボタン： NDフィルターまたはCCフィルターの調整値 [M.GAIN/M.PED] (LOAD) ボタン： マスターゲインまたはマスターペダスタルの調整値 [SHUTTER] (ROP INF) ボタン： シャッターまたはシンクロシャッターの設定値 上記ボタンがすべて消灯のとき： アイリス値（[SELECT/EXIT]ボタンを押すと、カメラ番号表示に切り替えることができます） [IRIS]レバーの操作実行中： アイリス値またはマスターペダスタルの調整値
9	[IRIS]インジケータ	調整値表示部にアイリス値を表示しているときに点灯します。
10	[ND/CC] (SAVE) ボタン	操作対象をNDフィルターまたはCCフィルターに切り替えて、調整値表示部に値を表示します。 ➡ 「NDフィルター」 (28ページ参照) ➡ 「CCフィルター」 (29ページ参照) 繰り返し押しすと、NDフィルター（[ND]インジケータ点灯）→CCフィルター（[CC]インジケータ点灯）→OFF（ボタン消灯）の順に操作対象が切り替わります。 ボタンを長押しすると、カメラ側のフィルター制御をON/OFFします。 カメラ側のフィルター制御がONの場合、調整値表示部に表示されるNDフィルター値またはCCフィルター値と一緒に、調整値表示部の一番右端に「H」と表示されます。 [SHIFT]ボタンを押してから[ND/CC] (SAVE) ボタン（アンバー点灯）を押すと、本機の設定をメモリーカードに保存するSAVEメニューを表示します。 ➡ 「SAVEメニュー」 (36ページ参照)

11	[M.GAIN/M.PED] (LOAD) ボタン	<p>操作対象をマスターゲインまたはマスターペダスタルに切り替えて、調整値表示部に値を表示します。</p> <p>➡ 「マスターゲイン (M.GAIN) 」 (30ページ参照)</p> <p>➡ 「マスターペダスタル (M.PED) 」 (32ページ参照)</p> <p>繰り返し押すと、マスターゲイン ([M.GAIN]インジケータ点灯) → マスターペダスタル ([M.PED]インジケータ点灯) → OFF (ボタン消灯) の順に操作対象が切り替わります。</p> <p>[SHIFT]ボタンを押してから[M.GAIN/M.PED] (LOAD) ボタン (アンバー点灯) を押すと、本機の設定をメモリーカードから読み込むLOADメニューを表示します。</p> <p>➡ 「LOADメニュー」 (39ページ参照)</p>
12	[SHUTTER] (ROP INF) ボタン	<p>操作対象をシャッターに切り替えて、調整値表示部に値を表示します。</p> <p>➡ 「シャッター (SHUTTER) 」 (31ページ参照)</p> <p>[SHIFT]ボタンを押してから[SHUTTER] (ROP INF) ボタン (アンバー点灯) を押すと、本機の設定を行うROP INFメニューを表示します。</p> <p>➡ 「ROP INFメニュー」 (42ページ参照)</p>
13	[10-19]インジケータ	カメラ管理番号の選択時、2桁のカメラ管理番号 (10~19) を選択すると点灯します。
14	カメラ管理番号表示部	カメラ管理番号 (本機がカメラ接続用に管理している番号) を表示します。カメラ管理番号の選択中は表示が点滅します。 2桁のカメラ管理番号 (10~19) を選択した場合、下一桁のみを表示します。
15	[SELECT/EXIT]ボタン	<p>長押しすると、カメラ管理番号が選択可能な状態になります (カメラ管理番号表示部点滅)。点滅中に[SELECT]ダイヤルでカメラ管理番号を選択後、もう一度ボタンを長押しして選択を確定します。</p> <p>調整値表示部の表示がアイリス値のとき ([ND/CC] (SAVE) ボタン、[M.GAIN/M.PED] (LOAD) ボタン、[SHUTTER] (ROP INF) ボタンがOFFのとき) に短押しすると、常時表示される値をカメラ番号に切り替えることができます。</p> <p>SAVE/LOAD/ROP INFメニューの操作中に押すと、調整値表示部の表示を1つ前に戻したり、メニューを終了したりすることができます。</p> <p>➡ 「SAVE/LOAD/ROP INFメニュー」 (36ページ参照)</p>
16	[CHARA/MENU]ボタン	<p>CCUのピクチャーモニター (PM) の、ステータス画面のキャラクター表示をON/OFFします。ONのときは、ボタンがアンバーで点灯します。 表示項目の切り替えは、[SELECT]ダイヤルで行います。</p> <p>長押しすると、カメラメニューまたはCCUメニューの表示をON/OFFします。 ボタンをON (緑点灯) にすると、メニュー操作する機器を選択できます。[SELECT]ダイヤルを回して「CA」 (カメラ) または「CCU」を選択し、[SELECT]ダイヤル押してメニューを表示します。</p>
17	[SELECT]ダイヤル	<p>ボタンが下記状態のとき：調整値表示部の設定値を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [ND/CC] (SAVE) 、[M.GAIN/M.PED] (LOAD) 、[SHUTTER] (ROP INF) ボタンのいずれかがON ● [CHARA/MENU]ボタンがOFF <p>ボタンが下記状態のとき：SAVE/LOAD/ROP INFメニューの操作を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [SHIFT]ボタンがON ● [ND/CC] (SAVE) 、[M.GAIN/M.PED] (LOAD) 、[SHUTTER] (ROP INF) ボタンのいずれかがON ● [CHARA/MENU]ボタンがOFF <p>[SELECT/EXIT]ボタンがONのとき：カメラ管理番号を選択します。</p> <p>[CHARA/MENU]ボタンがONのとき：キャラクター表示の切り替え、カメラメニュー/CCUメニューの選択を行います。 キャラクター表示の切り替え時は、ダイヤルを左右どちらに回しても、次のキャラクターが表示されます。</p>

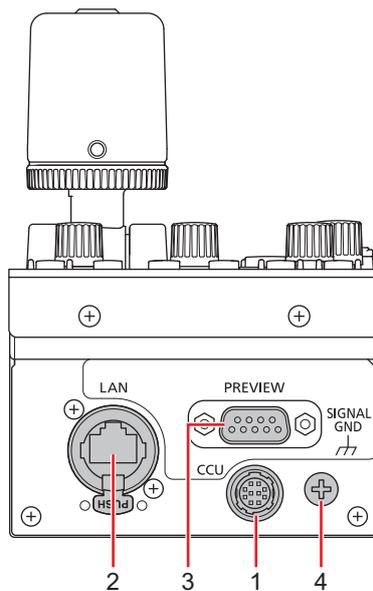
前面パネル4



1	[TALLY/CALL]ボタン	<p>ボタンの点灯色（赤または緑）で、タリー情報を表示します。赤/緑の両方のタリーがONのときは、赤タリーの表示を優先します。</p> <p>ボタンを押すと、カメラ、CCU側のコールスイッチを点灯させます。カメラ側またはCCU側でコールスイッチが押されると、スイッチが点灯しブザーが鳴ります。</p> <p>状態表示</p> <p>消灯： カメラ、CCU側のコールスイッチが押されていません。</p> <p>赤点灯： カメラ側、またはCCU側のコールスイッチが押されています。</p>
2	[IRIS/M.PED LOCK]ボタン	<p>短押しすると、アイリスを操作無効（ロック）にします。 長押しすると、マスターペダスタルを操作無効（ロック）にします。</p> <p>状態表示</p> <p>消灯： アイリスおよびマスターペダスタルを制御できます。</p> <p>緑点灯： アイリスが制御有効、マスターペダスタルが操作無効（ロック）状態です。</p> <p>赤点灯： アイリスおよびマスターペダスタルが操作無効（ロック）状態です。</p> <p>アンバー点滅： 他の機器からアイリスが操作され、カメラの調整値と[IRIS]レバーの位置が不一致の状態です。</p> <p>緑点滅（2回）： 他の機器からマスターペダスタルが操作され、カメラの調整値と[M.PED]ダイヤルの位置が不一致の状態です。</p> <p>■ カメラの調整値と[IRIS]レバーまたは[M.PED]ダイヤルの位置が不一致の場合は、カメラの調整値と一致した時点で消灯して通常の制御が可能になります。</p>
3	[ALM]インジケータ	<p>カメラ、CCUの警告表示灯です。 異常の場合は、販売店にご相談ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラ/CCUの光受信強度レベルの不足、あるいはCCU光伝送受信部のデータエラーが発生した場合や、カメラ、CCUのファンの異常や温度異常の場合に赤点灯します。
4	[EXT]インジケータ	<p>レンズエクステンダーがONになると点灯します。</p>
5	[D.EXT]インジケータ	<p>デジタルエクステンダーがONになると点灯します。</p>
6	[OPT]インジケータ	<p>カメラケーブルの警告表示灯です。</p> <p>状態表示</p> <p>赤点滅： 光伝送に問題があることを警告しています。</p> <p>赤点灯： カメラ/CCU間が未接続です。</p> <p>消灯： カメラケーブル正常接続状態</p>
7	[SENSE]ダイヤル	<p>[IRIS]レバーをOPEN/CLOSEに動かしたときのアイリス可変範囲を調整します。</p> <p>ダイヤル操作</p> <p>右に回す（時計回り）： 可変範囲が広がります（[IRIS]レバーの感度が高くなります）ダイヤル右端で約±2絞りです。</p> <p>左に回す（反時計回り）： 可変範囲が狭まります（[IRIS]レバーの感度が低くなります）ダイヤルを左端で約±1/2絞りです。</p>

8	[COARSE]ダイヤル	<p>[IRIS]レバーの操作に対して、アイリスの範囲を調整します。</p> <p>ダイヤル操作</p> <p>右に回す（時計回り）： [IRIS]レバーの操作が、輝度が高い範囲での操作となります。</p> <p>左に回す（反時計回り）： [IRIS]レバーの操作が、輝度が低い範囲での操作となります。</p>
9	[AUTO]ボタン	<p>オートアイリス機能を有効にします。オートアイリス機能の詳細は、下記のページをご覧ください。</p> <p>➡ 「アイリス (IRIS) 」 (33ページ参照)</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： オートアイリス機能が有効</p> <p>消灯： [IRIS]レバーによるアイリスの手動（マニュアル）調整が有効</p>
10	[PANEL ACTIVE]ボタン	<p>パネルの操作をロック（無効）にします。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： 有効</p> <p>消灯： 無効</p>
11	[RELATIVE]ボタン	<p>[IRIS]レバーの可変範囲を[SENSE]ダイヤルと[COARSE]ダイヤルに依存するかしないかを切り替えます。</p> <p>状態表示</p> <p>点灯： [IRIS]レバーを、[SENSE]ダイヤルと[COARSE]ダイヤルの設定に依存させます。</p> <p>消灯： [IRIS]レバーの可変範囲をOPENからCLOSEまでの全域にします。</p>
12	[M.PED]ダイヤル	<p>マスターペダスタルのレベル調整ダイヤルです。</p> <p>右回し（時計回り）でマスターペダスタルが上がります。</p> <p>マスターペダスタルの調整についての詳細は、下記のページをご覧ください。</p> <p>➡ 「マスターペダスタル (M.PED) 」 (32ページ参照)</p>
13	[IRIS]レバー	<p>アイリスのレベル調整器です。</p> <p>アイリスの手動調整ができます。</p> <p>アイリスの調整についての詳細は、下記のページをご覧ください。</p> <p>➡ 「アイリス (IRIS) 」 (33ページ参照)</p> <p>レバー位置</p> <p>手前： CLOSE（閉）方向に調整します。</p> <p>奥： OPEN（開）方向に調整します。</p>
14	[PREVIEW]ボタン	<p>〈PREVIEW〉コネクターからプレビュー信号を出力します。</p>
15	メモリーカードアクセスインジケータ	<p>メモリーカードの読み込み中、書き込み中に点灯します。</p>
16	メモリーカードスロット	<p>メモリーカードを挿入します。本機の設定およびシーンファイルやユーザーファイルなどを、メモリーカードに保存することができます。</p> <p>➡ 「メモリーカードについて」 (9ページ参照)</p>

コネクタ



1	〈CCU〉コネクタ	CCUにシリアル接続するコネクタです。
2	〈LAN〉コネクタ	IP接続対応のCCUに対し、スイッチングハブを経由してLANケーブルで接続します。
3	〈PREVIEW〉コネクタ	プレビュー信号出力コネクタです。
4	〈SIGNAL GND〉端子	システムグラウンドに接続します。

調整と設定

オートセットアップ

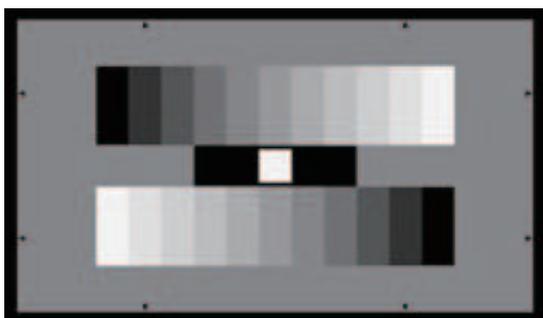
オートセットアップのしかた

- カメラがオートセットアップに対応している場合に機能します。非対応のカメラでは動作しません。

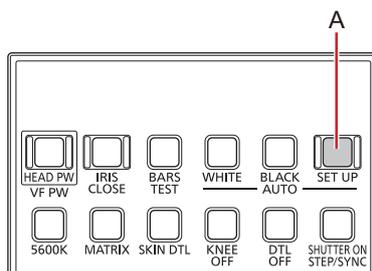
オートセットアップの前に

グレースケールのくさび位置をビューファインダーの上下方向の画角に合わせてください。チャートの映す位置によっては、うまくオートセットアップできないことがありますので、チャートの映す位置を正しく合わせてください。

- 推奨グレースケール



オートセットアップのしかた



A. [AUTO SET UP]ボタン

操作手順

1. [AUTO SET UP]ボタン (A) を押す

[AUTO SET UP]ボタンが点滅して、オートセットアップ起動準備モードが確定し、カメラのビューファインダー中央に“□”が表示されます。グレースケールの中央の白をこの“□”に合わせます。(ここで長押しするとセットアップをキャンセルします)

2. 再度、[AUTO SET UP]ボタン (A) を押す

[AUTO SET UP]ボタンが点灯状態となり、オートセットアップを開始します。(オートセットアップ動作中に[AUTO SET UP]ボタンを長押しすると、オートセットアップが中断します。)

正常に終了すると、[AUTO SET UP]ボタンが消灯します。

- 約1秒間隔で[AUTO SET UP]ボタンが点灯したときは、オートセットアップが完了せずに終了したことを示します。オートセットアップ動作中、ピクチャーモニター (PM) 上にキャラクターで動作状態を表示します。
- オートセットアップが完了しなかった場合は、CCUのピクチャーモニター (PM) の表示を確認してください。

NOTE

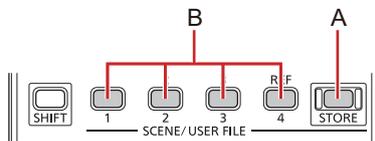
- AK-HC3900との接続時は機能しません。

シーンファイル

シーンファイルの登録と呼び出しのしかた

シーンファイルの登録のしかた

現在運用中のデータをシーンファイルとして登録できます。



- A. [STORE]ボタン
- B. [1]/[2]/[3]/[4] (SCENE/USER FILE) ボタン

操作手順

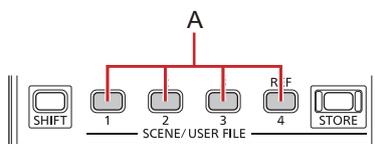
1. [STORE]ボタン (A) を押す
ボタンが点灯します。
2. 登録したいシーン番号のボタン (B) を押す
ボタンを押すとシーンファイルの登録を開始します。
登録が完了すると[STORE]ボタン (A) が消灯します。



NOTE

- シーンファイル呼び出し後に調整を行い、登録操作を行った場合は、その時点の状態がシーンファイルに登録されません。

シーンファイルの呼び出ししかた



- A. [1]/[2]/[3]/[4] (SCENE/USER FILE) ボタン

操作手順

1. 呼び出したいシーン番号のボタン (A) を押す
押されたボタンが点灯し、シーンファイルが呼び出されます。
シーンファイルの呼び出しを止める場合は、点灯しているボタンを押して消灯します。
 - シーンファイル呼び出し前に一時退避されていた設定情報が復帰し、設定状態もシーンファイル呼び出し前に戻ります。
 - 他の番号のボタンを押すと、押されたボタンに登録されているシーンファイルが新たに呼び出されます。

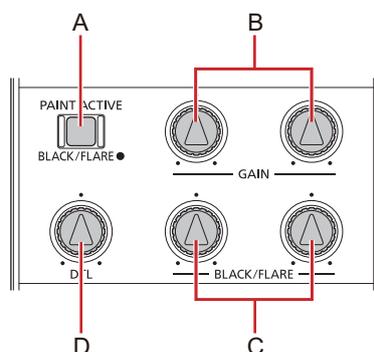
PAINT LOCK

PAINT LOCKの使い方

ペイントボリュームの操作をロック（無効）にします。

ペイントボリュームロック（PAINT LOCK）の対象は、以下の操作です。

- [GAIN]ダイヤル（赤、青）（B）：ホワイトバランス調整
- [BLACK/FLARE]ダイヤル（赤、青）（C）：ペダスタル/フレア調整
- [DTL]ダイヤル（D）：ディテールエンハンサー調整



- A. [BLACK/FLARE] (PAINT ACTIVE) ボタン
- B. [GAIN]ダイヤル（赤、青）
- C. [BLACK/FLARE]ダイヤル（赤、青）
- D. [DTL]ダイヤル

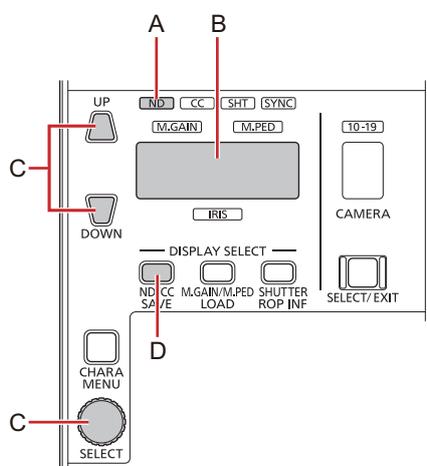
操作手順

1. 各項目をダイヤルで調整する
2. [BLACK/FLARE] (PAINT ACTIVE) ボタン (A) を長押しする
ボタンが消灯します。
3. ダイヤルを回して中央にセットする
4. もう一度[BLACK/FLARE] (PAINT ACTIVE) ボタン (A) を長押しする
ボタンが点灯します。この時点のボリュームの位置の値がセンターとなります。
5. [BLACK/FLARE] (PAINT ACTIVE) ボタン (A) を押して[BLACK/FLARE]ダイヤル (C) の機能を切り替える
ボタン点灯（アンバー）：ペダスタル（赤、青）の調整用ダイヤルとして使用します。
ボタン点灯（緑）：フレア（赤、青）調整用ダイヤルとして使用します。

NDフィルター

NDフィルターの表示と設定のしかた

NDフィルターの調整値は、調整値表示部（B）に表示されます。



- A. [ND]インジケーター
- B. 調整値表示部
- C. [UP/DOWN]ボタンまたは[SELECT]ダイヤル
- D. [ND/CC] (SAVE) ボタン

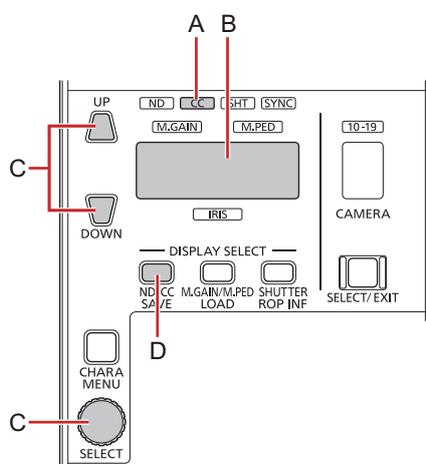
操作手順

1. [ND/CC] (SAVE) ボタン (D) を押して[ND]インジケーター (A) を点灯させる
調整値表示部 (B) にNDフィルターの調整値が表示されます。
2. [UP/DOWN]ボタンまたは[SELECT]ダイヤル (C) でNDフィルターを調整する
調整値が「1」のとき、[ND]インジケーター (A) は緑で点灯します。「1」以外ときはアンバーで点灯します。

CCフィルター

CCフィルターの表示と設定のしかた

CCフィルターの調整値は、調整値表示部（B）に表示されます。



- A. [CC]インジケータ
- B. 調整値表示部
- C. [UP/DOWN]ボタンまたは[SELECT]ダイヤル
- D. [ND/CC] (SAVE) ボタン

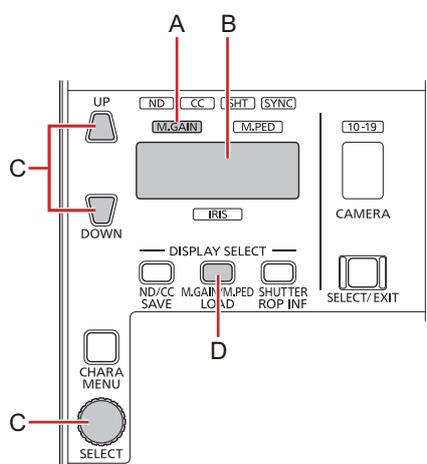
■ 操作手順

1. [ND/CC] (SAVE) ボタン (D) を押して[CC]インジケータ (A) を点灯させる
調整値表示部 (B) にCCフィルターの調整値が表示されます。
2. [UP/DOWN]ボタンまたは[SELECT]ダイヤル (C) でCCフィルターを調整する
調整値が「A」のとき、[CC]インジケータ (A) は緑で点灯します。「A」以外の場合はアンバーで点灯します。

マスターゲイン (M.GAIN)

マスターゲイン (M.GAIN) の表示と設定のしかた

マスターゲイン (M.GAIN) の調整値は、調整値表示部 (B) に表示されます。



- A. [M.GAIN]インジケータ
- B. 調整値表示部
- C. [UP/DOWN]ボタンまたは[SELECT]ダイヤル
- D. [M.GAIN/M.PED] (LOAD) ボタン

操作手順

1. [M.GAIN/M.PED] (LOAD) ボタン (D) を押して[M.GAIN]インジケータ (A) を点灯させる
調整値表示部 (B) にマスターゲインの調整値が表示されます。
2. [UP/DOWN]ボタンまたは[SELECT]ダイヤル (C) でマスターゲインを調整する
調整値が「0」のとき、[M.GAIN]インジケータ (A) は緑で点灯します。「0」以外のときはアンバーで点灯します。

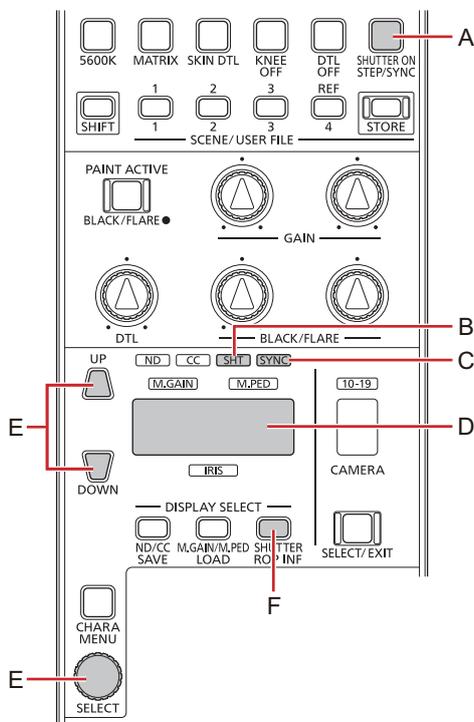
シャッター (SHUTTER)

シャッター (SHUTTER) の表示と設定のしかた

[SHUTTER ON] (STEP/SYNC) ボタン (A) を押して、シャッターのON/OFFを切り替えます (点灯時シャッターON)。

シャッターモードは、[SHUTTER ON] (STEP/SYNC) ボタン (A) を長押しして切り替えます。

シャッター値は調整値表示部 (D) に表示され、[UP/DOWN]ボタンまたは[SELECT]ダイヤル (E) で調整します。



- A. [SHUTTER ON] (STEP/SYNC) ボタン
- B. [SHT]インジケータ
- C. [SYNC]インジケータ
- D. 調整値表示部
- E. [UP/DOWN]ボタンまたは[SELECT]ダイヤル
- F. [SHUTTER] (ROP INF) ボタン

操作手順

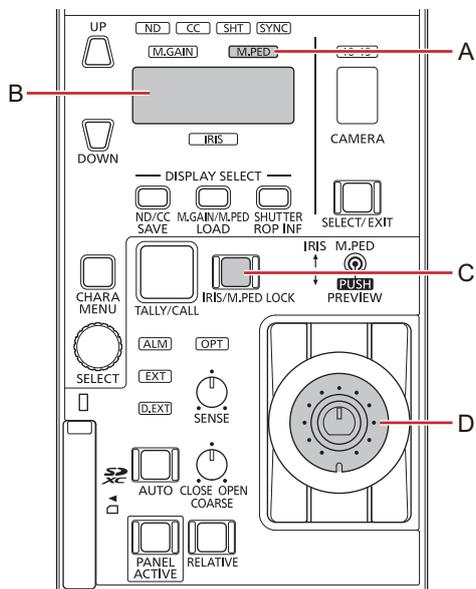
1. [SHUTTER ON] (STEP/SYNC) ボタン (A) を押してボタンを点灯させる
シャッターがONになります。シャッターモード (STEP/SYNC) を切り替える場合は、[SHUTTER ON] (STEP/SYNC) ボタン (A) を長押しして切り替えます。
2. [SHUTTER] (ROP INF) ボタン (F) を押して調整値表示部 (D) に表示する値 (STEP/SYNC) を切り替える
STEP選択時: [SHT]インジケータ (B) が点灯します。
SYNC選択時: [SHT]インジケータ (B) と[SYNC]インジケータ (C) の両方が点灯します。
3. [UP/DOWN]ボタンまたは[SELECT]ダイヤル (E) でシャッタースピードを変更する
4. [SHUTTER ON] (STEP/SYNC) ボタン (A) を押してボタンを消灯させる
シャッターがOFFになります。

マスターペDESTAL (M.PED)

マスターペDESTAL (M.PED) の表示と設定のしかた

マスターペDESTAL (M.PED) の調整値は、[M.PED]ダイヤル (D) 操作時、調整値表示部 (B) に表示されます。

- [IRIS/M.PED LOCK]ボタン (C) が消灯時 (解除時) に調整可能です。



- A. [M.PED]インジケータ
- B. 調整値表示部
- C. [IRIS/M.PED LOCK]ボタン
- D. [M.PED]ダイヤル

操作手順

1. [M.PED]ダイヤル (D) を回す

[M.PED]インジケータ (A) が点灯し、調整値表示部 (B) に調整値が表示されます。

調整値が「0」のとき、[M.PED]インジケータ (A) は緑で点灯します。「0」以外のときはアンバーで点灯します。

アイリス (IRIS)

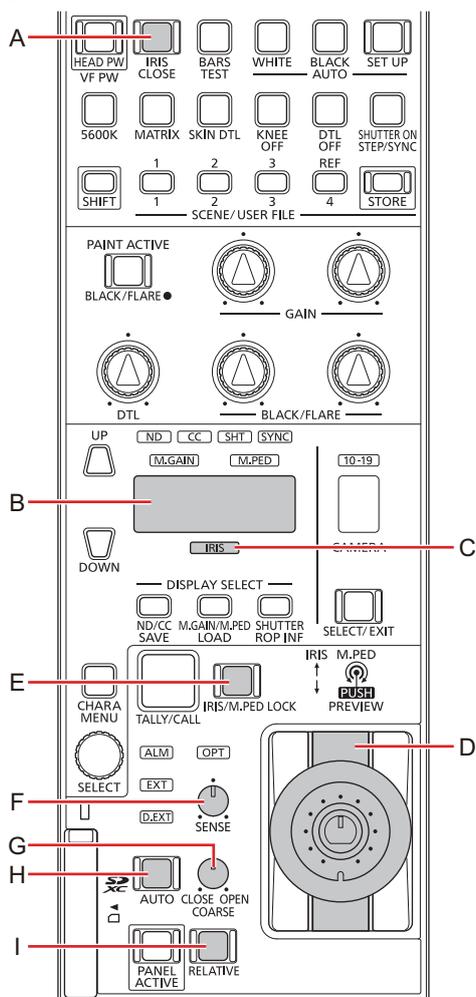
アイリス (IRIS) の表示と設定のしかた

手動調整

オートアイリスでない場合に、アイリスのマニュアル（手動）調整ができます。

アイリス値は調整値表示部 (B) に表示されます。表示中は[IRIS]インジケータ (C) が点灯します。

- [AUTO]ボタン (H) が消灯時 (AUTO解除時) に調整可能です。
- [IRIS/M.PED LOCK]ボタン (E) が消灯時 (アイリスロック解除時) に調整可能です。
- [IRIS CLOSE]ボタン (A) が消灯時 (アイリス強制CLOSE解除時) に調整可能です。



- [IRIS CLOSE]ボタン
- 調整値表示部
- [IRIS]インジケータ
- [IRIS]レバー
- [IRIS/M.PED LOCK]ボタン
- [SENSE]ダイヤル
- [COARSE]ダイヤル
- [AUTO]ボタン
- [RELATIVE]ボタン

操作手順

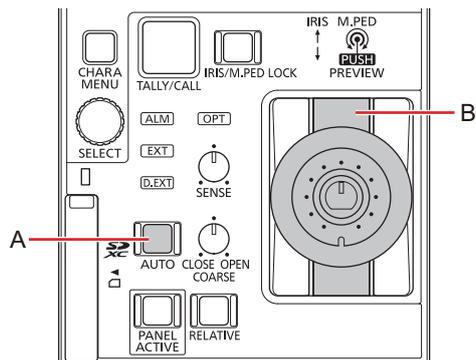
1. [IRIS]レバー (D) でアイリスレベルを調整する

手前に倒すとCLOSE（閉）方向に、奥に倒すとOPEN（開）方向に調整します。

- [SENSE]ダイヤル (F) で、[IRIS]レバー (D) を中心から右端、左端に動かしたときのアイリス可変範囲を調整することができます。
➡ 「[SENSE]ダイヤル」 (22ページ参照)
- [COARSE]ダイヤル (G) で、[IRIS]レバー (D) を中心にしたときのアイリス値を調整することができます。
➡ 「[COARSE]ダイヤル」 (23ページ参照)
- [SENSE]ダイヤル (F) 、[COARSE]ダイヤル (G) による可変範囲の制限を解除し、OPENからCLOSEまでの全域を使用する場合は、[RELATIVE]ボタン (I) を押して消灯させてください。

自動設定

アイリスを自動調整します（オートアイリス）。



A. [AUTO]ボタン

B. [IRIS]レバー

操作手順

1. [AUTO]ボタン (A) を押して点灯させる

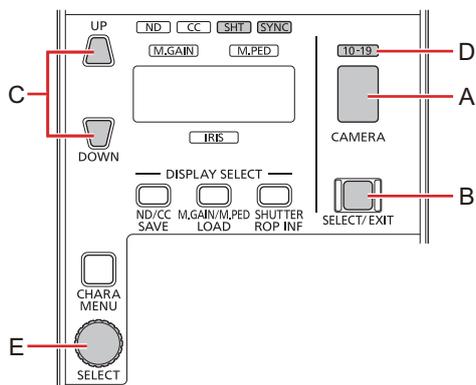
オートアイリスがONになります。

- オートアイリス時は、[IRIS]レバー (B) でアイリスの収束レベルを調整できます。手前に倒すとCLOSE方向に、奥に倒すとOPEN方向に調整します。

カメラの選択

本機で制御する対象となるカメラを選択します。

カメラの選択は、カメラ選択モードに切り替えてから行います。



- A. カメラ管理番号表示部
- B. [SELECT/EXIT]ボタン
- C. [UP/DOWN]ボタン
- D. [10-19]インジケータ
- E. [SELECT]ダイヤル

操作手順

1. [SELECT/EXIT]ボタン (B) を1秒以上長押しする
カメラ管理番号表示部 (A) が点滅します。
2. [SELECT]ダイヤル (E) または[UP/DOWN]ボタン (C) を使ってカメラ管理番号を選択する
[SELECT/EXIT]ボタン (B) の点灯中、[SELECT]ダイヤル (E) でカメラ管理番号を選択することができます。
2桁のカメラ管理番号 (10~19) を選んだ場合、[10-19]インジケータ (D) が点灯し、カメラ管理番号表示部 (A) には1桁目のカメラ管理番号が表示されます。
3. [SELECT/EXIT]ボタン (B) を1秒以上長押しする
カメラ管理番号を確定し、カメラ管理番号表示部 (A) が点灯に変わります。

SAVE/LOAD/ROP INFメニュー

SAVEメニュー

SAVEメニューでは、本機の各種設定データをメモリーカードへ保存することができます。以下の操作が可能です。

- 任意のシーンファイル（Scene1～4）またはカレントシーンファイルの保存
- すべてのシーンファイルの一括保存
- 任意のユーザーファイル（User1～3）の保存
- すべてのユーザーファイルの一括保存
- すべてのレンズファイル（1～32）の一括保存
- 接続設定ファイルの保存
- 本機のROP設定ファイルの保存
- メモリーカードの初期化

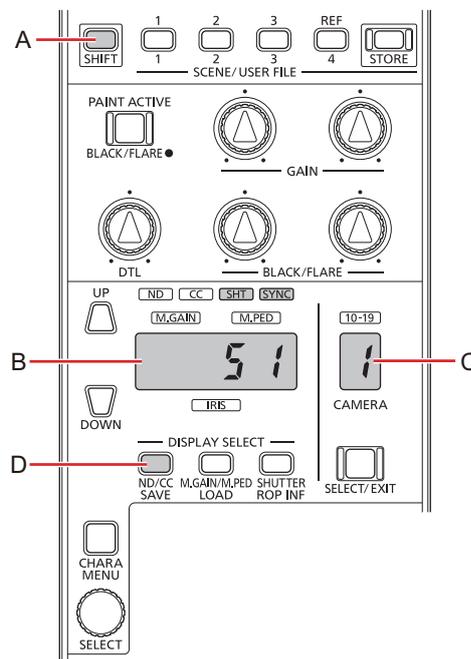
NOTE

- 接続設定ファイルおよびROP設定ファイルは、「ROPセットアップソフトウェア」を使って編集することができます。
➡ 「ROPセットアップソフトウェア」（51ページ参照）

SAVEメニューの操作のしかた

SAVEメニューは、以下の手順で操作を行います。

1. [SHIFT]ボタン (A) を押し、続いて[ND/CC] (SAVE) ボタン (D) を押し
調整値表示部 (B) にSAVEメニューが表示されます。メニューの選択中は、表示が点滅します。
カメラ管理番号表示部 (C) にはメニュー番号が表示されます。

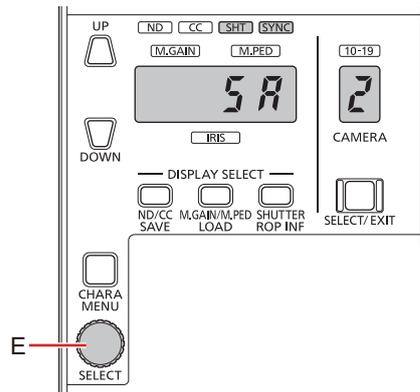


- A. [SHIFT]ボタン
- B. 調整値表示部
- C. カメラ管理番号表示部
- D. [ND/CC] (SAVE) ボタン

2. [SELECT]ダイヤル (E) を使ってメニュー番号を選択する

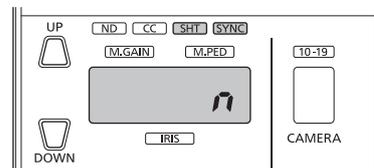
メニューの選択中、[SELECT]ダイヤル (E) を回してメニュー番号の選択、押してメニューの確定を行うことができます。メニューを確定すると、確認画面が表示されます。

表示	メニュー番号	内容
S1~S4	1	選択した任意のシーンファイル (Scene1~4) をメモリーカードに保存します。
SC		カレントシーンファイル (Scene Current) をメモリーカードに保存します。
SA	2	すべてのシーンファイル (Scene All) をメモリーカードに一括保存します。
U1~U3	3	選択した任意のユーザーファイル (User1~3) をメモリーカードに保存します。
UA		すべてのユーザーファイル (User All) をメモリーカードに一括保存します。
LEA	5	すべてのレンズファイル (Lens All) を一括保存します。
Co	6	接続設定ファイルをメモリーカードに保存します。
roP	7	本機のROP設定ファイルをメモリーカードに保存します。
S.Fo	8	メモリーカードの初期化を行います。



E. [SELECT]ダイヤル

確認画面

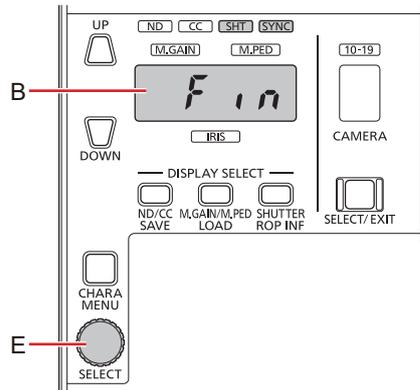


NOTE

- 「S1~S4」、「SC」、「U1~U3」を選択した場合、元のシーンファイル/ユーザーファイル番号に関係なく、1つのファイルに保存されます。続けて保存を行うと、保存データが上書きされますのでご注意ください。

3. [SELECT]ダイヤル (E) を回して「y」(yes)を選び、[SELECT]ダイヤル (E) を押して操作を実行する 操作が完了すると、調整値表示部 (B) の表示が「Fin」に変わります。

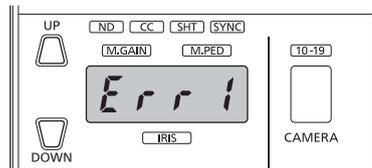
- 「n」(no) の表示で[SELECT]ダイヤル(E)を押すと、SAVEメニューの選択に戻ります。



- B. 調整値表示部
E. [SELECT]ダイヤル

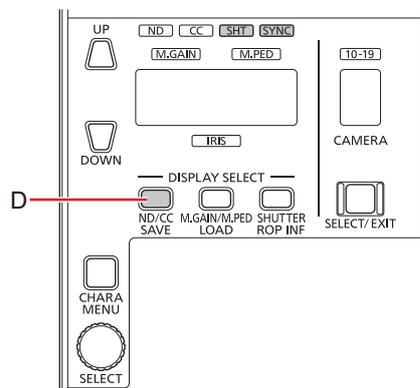
NOTE

- 保存に失敗した場合は、調整値表示部にエラー番号（「Err1」など）が表示されます。エラー番号の表示中に[SELECT]ダイヤル (E) を押すと、SAVEメニューの選択に戻ります。



表示	内容	対応
Err1	メモリーカードが未挿入、またはメモリーカードが認識できません。	メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。
Err3 または ErrE	ファイルの書き込みに失敗しました。	メモリーカードにライトプロテクトがかかっているか確認してください。
		メモリーカードに十分な空き容量があるか確認してください。
		メモリーカードがフォーマットされているか確認してください。
		本機に対応しているメモリーカードか確認してください。

4. SAVEメニューを終了するには、[ND/CC] (SAVE) ボタン (D) を押す



- D. [ND/CC] (SAVE) ボタン

LOADメニュー

LOADメニューでは、メモリーカードに保存した各種設定データを本機に読み込むことができます。以下の操作が可能です。

- 現在選択しているシーンへのシーンファイルの読み込み
- すべてのシーンファイルの一括読み込み
- 任意のユーザーファイルの読み込み
- すべてのユーザーファイルの一括読み込み
- レンズファイルの一括読み込み
- 接続設定ファイルの読み込み
- 本機のROP設定ファイルの読み込み
- 本機のソフトウェアアップデート
- メモリーカードの初期化

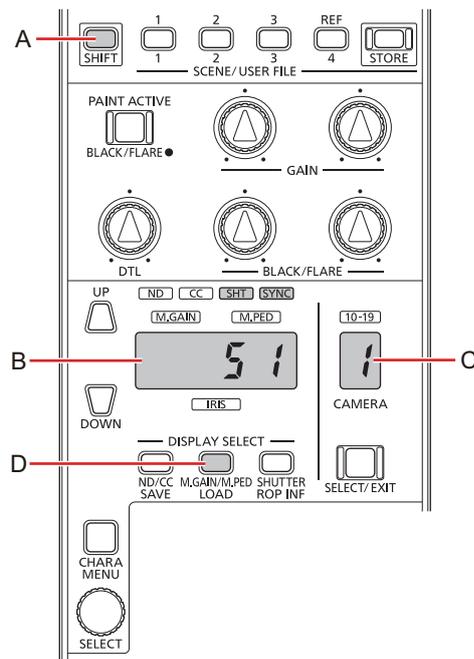
NOTE

- 接続設定ファイルおよびROP設定ファイルは、「ROPセットアップソフトウェア」を使って編集することができます。
➡ 「ROPセットアップソフトウェア」 (51ページ参照)

LOADメニューの操作のしかた

LOADメニューは、以下の手順で操作を行います。

1. [SHIFT]ボタン (A) を押し、続いて[M.GAIN/M.PED] (LOAD) ボタン (D) を押す
調整値表示部 (B) にLOADメニューが表示されます。メニューの選択中は、表示が点滅します。
カメラ管理番号表示部 (C) にはメニュー番号が表示されます。

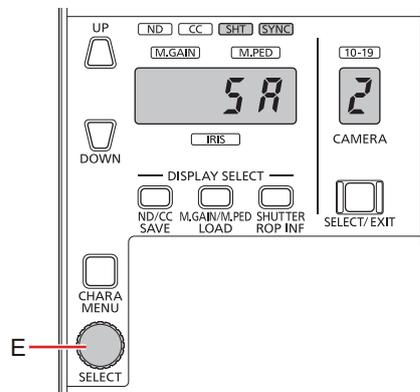


- A. [SHIFT]ボタン
- B. 調整値表示部
- C. カメラ管理番号表示部
- D. [M.GAIN/M.PED] (LOAD) ボタン

2. [SELECT]ダイヤル (E) を使ってメニュー番号を選択する

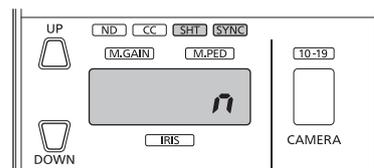
メニューの選択中、[SELECT]ダイヤル (E) を回してメニュー番号の選択、押してメニューの確定を行うことができます。メニューを確定すると、確認画面が表示されます。

表示	メニュー番号	内容
S1~S4	1	メモリーカードに保存した任意のシーンファイル (Scene1~4) を、指定したシーンに読み込みます。
SC		メモリーカードに保存したカレントシーンファイル (Scene Current) を、現在選択しているシーンに読み込みます。
SA	2	メモリーカードに一括保存したシーンファイル (Scene All) を読み込みます。
U1~U3	3	メモリーカードに保存した任意のユーザーファイル (User1~3) を、現在選択しているユーザー番号に読み込みます。
UA		メモリーカードに一括保存したユーザーファイル (User All) を読み込みます。
LEA	5	メモリーカードに一括保存したレンズファイル (Lens All) を読み込みます。
Co	6	接続設定ファイルをメモリーカードから読み込みます。
roP	7	本機のROP設定ファイルをメモリーカードから読み込みます。
UP	8	メモリーカードに保存されたファームウェアを読み込んで、本機のソフトウェアをバージョンアップします。
S.Fo	9	メモリーカードの初期化を行います。



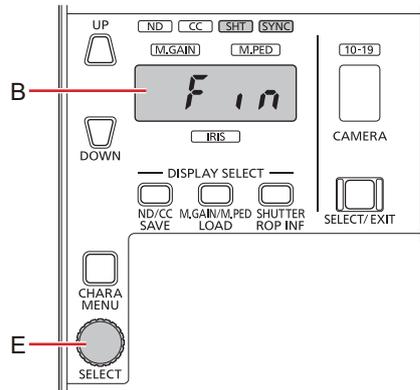
E. [SELECT]ダイヤル

確認画面



3. [SELECT]ダイヤル (E) を回して「y」(yes)を選び、[SELECT]ダイヤル (E) を押して操作を実行する 操作が完了すると、調整値表示部 (B) の表示が「Fin」に変わります。

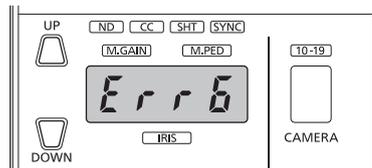
- 「n」(no) の表示で[SELECT]ダイヤル(E)を押すと、SAVEメニューの選択に戻ります。



- B. 調整値表示部
E. [SELECT]ダイヤル

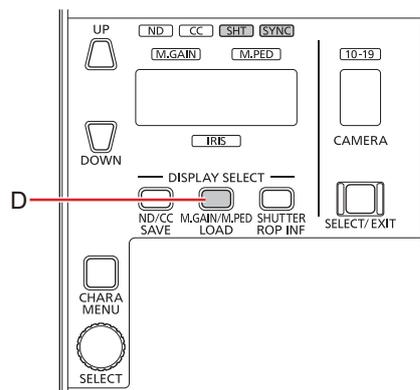
NOTE

- 読み込みに失敗した場合は、調整値表示部にエラー番号（「Err6」など）が表示されます。エラー番号の表示中に[SELECT]ダイヤル (E) を押すと、LOADメニューの選択に戻ります。



表示	内容	対応
Err6	メモリーカードが未挿入、またはメモリーカードが認識できません。	メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。
Err3 または ErrE	ファイルの読み込みに失敗しました。	正常にフォーマットされたメモリーカードが確認してください。 本機に対応しているメモリーカードが確認してください。 読み込みたいデータがメモリーカードに保存されているか確認してください。

4. LOADメニューを終了するには、[M.GAIN/M.PED] (LOAD) ボタン (D) を押す



- D. [M.GAIN/M.PED] (LOAD) ボタン

ROP INFメニュー

本機の設定変更やIPアドレスなどの情報の表示は、ROP INFメニューで行うことができます。以下の操作が可能です。

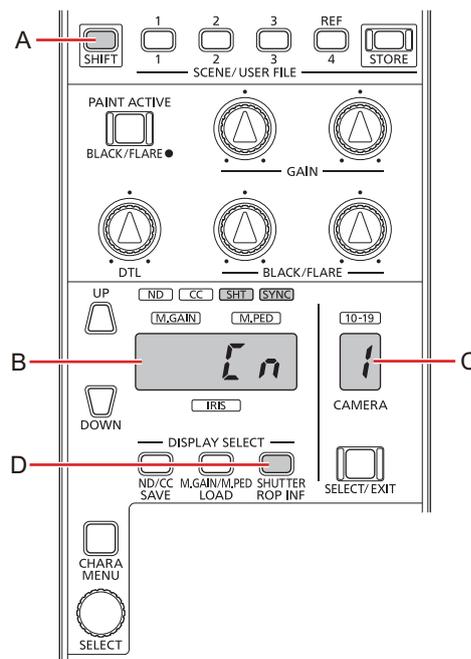
- カメラ番号（CCUで管理しているカメラの番号）の変更
- プザーのON/OFF
- タリー出力のON/OFF*1
- タリー出力するカメラの設定*1
- 本機のIPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/ポート番号/MACアドレスの表示
- 本機の設定の初期化
- 本機のシステムバージョンの表示
- ボタン/インジケータの明るさ調整
- 調整値表示部/カメラ管理番号表示部の明るさ調整
- アイリス制御の優先度の設定
- [IRIS]レバーの調整

*1：将来拡張用の設定です。スタジオカメラシステムとの接続時は使用できません。

ROP INFメニューの操作のしかた

ROP INFメニューは、以下の手順で操作を行います。

1. [SHIFT]ボタン (A) を押し、続いて[SHUTTER] (ROP INF) ボタン (D) を押し調整値表示部 (B) にROP INFメニューが表示されます。メニューの選択中は、表示が点滅します。カメラ管理番号表示部 (C) にはメニュー番号が表示されます。



- [SHIFT]ボタン
- 調整値表示部
- カメラ管理番号表示部
- [SHUTTER] (ROP INF) ボタン

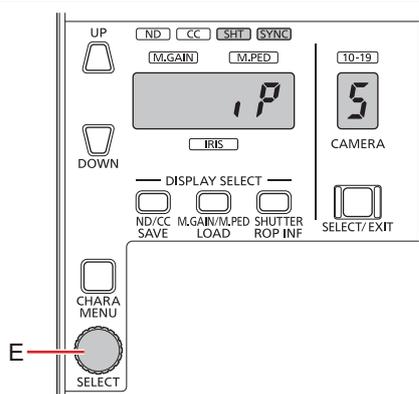
2. [SELECT]ダイヤル (E) を使ってメニュー番号を選択する

メニューの選択中、[SELECT]ダイヤル (E) を回してメニュー番号の選択、押してメニューの確定を行うことができます。

メニューを確定すると、選択した項目の設定値が表示されます。

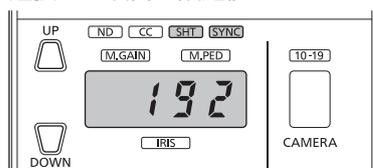
メニュー番号「1～8、C、d、F」の設定は、本機のROP設定ファイルとして保存/読み込みが行えます。

表示	メニュー番号	内容
Cn	1	カメラ番号 (CCUで管理しているカメラの番号) を変更します。CCUと接続しているときのみ有効です。未接続のときは、「---」と表示されます。
bu	2	操作時のブザーのON/OFFを設定します。ROPセットアップソフトウェアから変更することも可能です。
tLy	3	タリー通知のON/OFFを設定します (将来拡張用の設定です。スタジオカメラシステムとの接続時は使用できません)。ROPセットアップソフトウェアから変更することも可能です。
tLy.n	4	タリー出力をするカメラ管理番号を設定します (将来拡張用の設定です。スタジオカメラシステムとの接続時は使用できません)。ROPセットアップソフトウェアから変更することも可能です。
iP	5	本機のIPアドレスを表示します。設定変更はROPセットアップソフトウェアで行います。
Sb	6	本機のサブネットマスクを表示します。設定変更はROPセットアップソフトウェアで行います。
dF	7	本機のデフォルトゲートウェイを表示します。設定変更はROPセットアップソフトウェアで行います。
Port	8	本機の受信ポート番号を表示します。設定変更はROPセットアップソフトウェアで行います。
Addr	9	本機のMACアドレスを表示します。
int	A	本機の設定を初期化します。
Sno.	b	本機のシステムバージョンを表示します。
LEd	C	ボタン/インジケータータ点灯時の明るさを調整します。ROPセットアップソフトウェアから変更することも可能です。
7SEG	d	調整値表示部およびカメラ管理番号表示部の明るさを調整します。ROPセットアップソフトウェアから変更することも可能です。
i.cnt	E	アイリス制御の優先度を設定します。ROPセットアップソフトウェアから変更することも可能です。
iriS	F	[IRIS]レバーの稼働範囲を調整します。



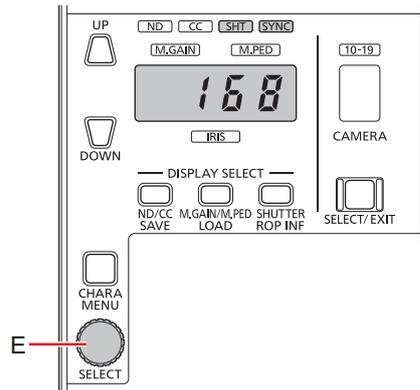
E. [SELECT]ダイヤル

選択した項目の設定値



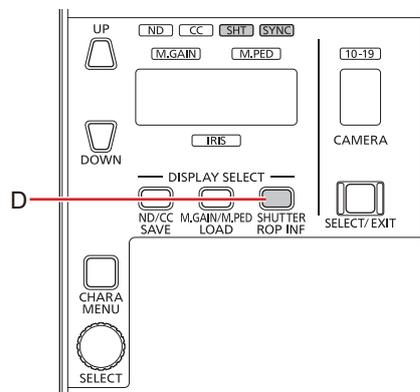
3. [SELECT]ダイヤル (E) を回して、設定値または表示内容を切り替える

選択したメニュー番号によって内容は異なります。操作方法は以降の各メニューの説明をご覧ください。



E. [SELECT]ダイヤル

4. ROP INFメニューを終了するには、[SHUTTER] (ROP INF) ボタン (D) を押す



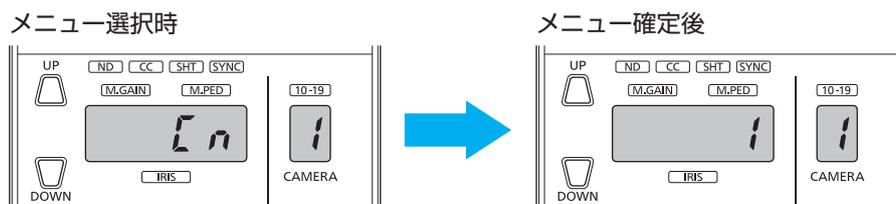
D. [SHUTTER] (ROP INF) ボタン

カメラ番号の変更 (Cn)

カメラ番号 (CCUで管理しているカメラの番号) を変更します。

設定中は表示が点滅します。[SELECT]ダイヤルを回すとカメラ番号の変更、[SELECT]ダイヤルを押すと確定が行えます。

設定の確定後はROP INFメニューの選択に戻ります。

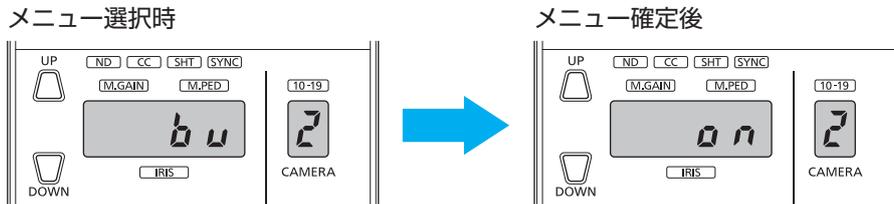


ブザーの切り替え (bu)

操作時のブザーのON/OFFを設定します。

設定中は表示が点滅します。[SELECT]ダイヤルを回すとブザーのON/OFFの変更、[SELECT]ダイヤルを押すと確定が行えます。

設定の確定後はROP INFメニューの選択に戻ります。



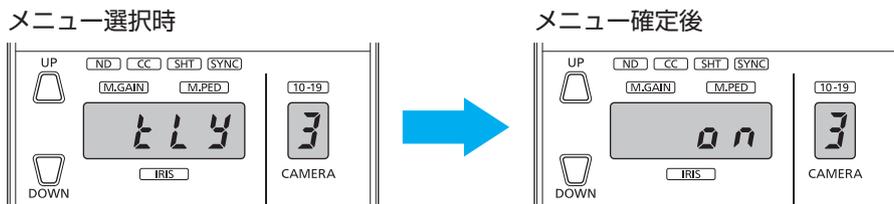
on	操作時にブザーを鳴らします。
oFF	ブザーを鳴らしません。

タリー通知の切り替え (tLy)

タリー通知のON/OFFを設定します。

設定中は表示が点滅します。[SELECT]ダイヤルを回すとタリー通知のON/OFFの変更、[SELECT]ダイヤルを押すと確定が行えます。

設定の確定後はROP INFメニューの選択に戻ります。



on	本機に入力されたタリーがカメラに通知されます。
oFF	タリーの通知を行いません。

NOTE

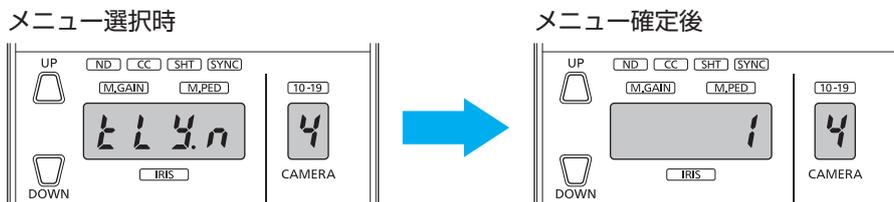
- 将来拡張用の設定です。スタジオカメラシステムとの接続時は使用できません。

タリー出力をするカメラの設定 (tLy.n)

本機に入力されたタリーをどのカメラに通知するか、カメラ管理番号 (1~19) で設定します。

設定中は表示が点滅します。[SELECT]ダイヤルを回すとカメラ管理番号の変更、[SELECT]ダイヤルを押すと確定が行えます。

設定の確定後はROP INFメニューの選択に戻ります。



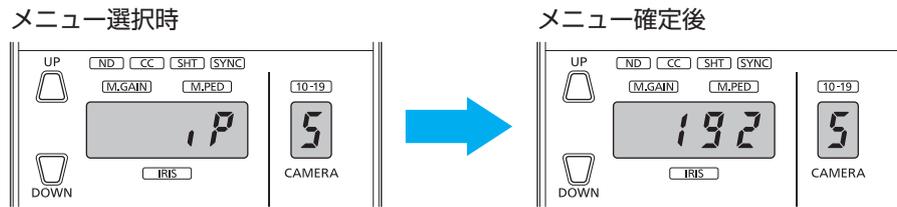
NOTE

- 将来拡張用の設定です。スタジオカメラシステムとの接続時は使用できません。

IPアドレスの表示 (iP)

本機のIPアドレスを表示します。[SELECT]ダイヤルを回すと、表示するセグメントが切り替わります。

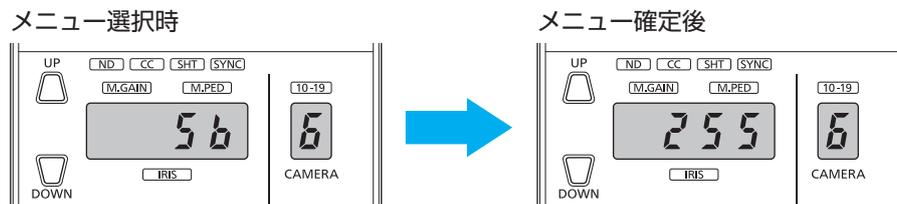
[SELECT]ダイヤルまたは[SELECT/EXIT]ボタンを押すと、ROP INFメニューの選択に戻ります。



サブネットマスクの表示 (Sb)

本機のサブネットマスクを表示します。[SELECT]ダイヤルを回すと、表示するセグメントが切り替わります。

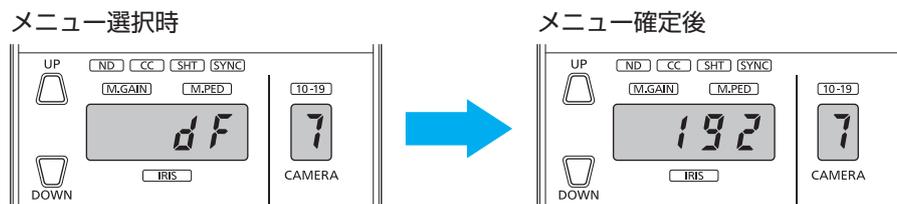
[SELECT]ダイヤルまたは[SELECT/EXIT]ボタンを押すと、ROP INFメニューの選択に戻ります。



デフォルトゲートウェイの表示 (dF)

本機のデフォルトゲートウェイを表示します。[SELECT]ダイヤルを回すと、表示するセグメントが切り替わります。

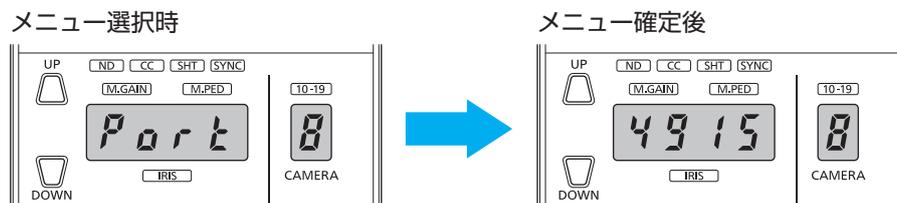
[SELECT]ダイヤルまたは[SELECT/EXIT]ボタンを押すと、ROP INFメニューの選択に戻ります。



受信ポート番号の表示 (Port)

受信ポート番号を表示します。受信ポート番号が5桁の場合、[SELECT]ダイヤルを右に回すと下4桁の表示に切り替えられます。

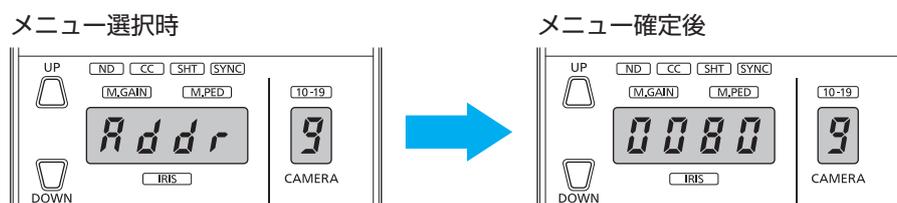
[SELECT]ダイヤルまたは[SELECT/EXIT]ボタンを押すと、ROP INFメニューの選択に戻ります。



MACアドレスの表示 (Addr)

本機のMACアドレスを表示します。[SELECT]ダイヤルを回すと、表示するセグメントが切り替わります。

[SELECT]ダイヤルまたは[SELECT/EXIT]ボタンを押すと、ROP INFメニューの選択に戻ります。

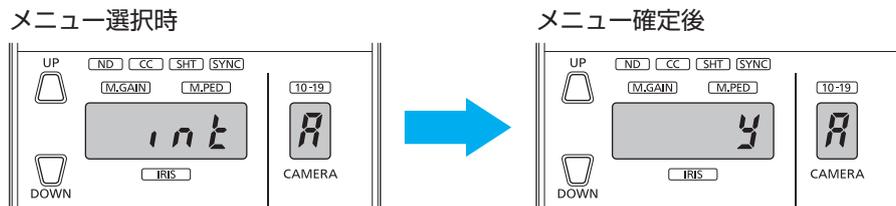


設定の初期化 (int)

本機の設定を初期化します。IPアドレスも初期化（工場出荷値：192.168.0.130）されます。

「y」（yes）を選んで[SELECT]ダイヤルを押すと、初期化が実行されます。

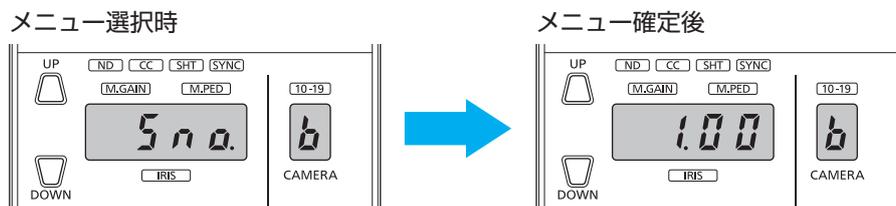
「n」（no）を選んで[SELECT]ダイヤルを押すと、ROP INFメニューの選択に戻ります。



システムバージョンの表示 (Sno.)

本機のシステムバージョンを表示します。[SELECT]ダイヤルを回すと、表示するセグメントが切り替わります。

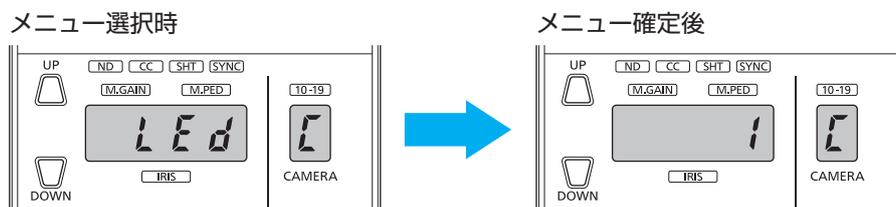
[SELECT]ダイヤルまたは[SELECT/EXIT]ボタンを押すと、ROP INFメニューの選択に戻ります。



ボタン/インジケータの明るさ (LEd)

ボタンやインジケータが点灯したときの明るさを調整します。[SELECT]ダイヤルを回して数値を大きくするほど、明るくなります。

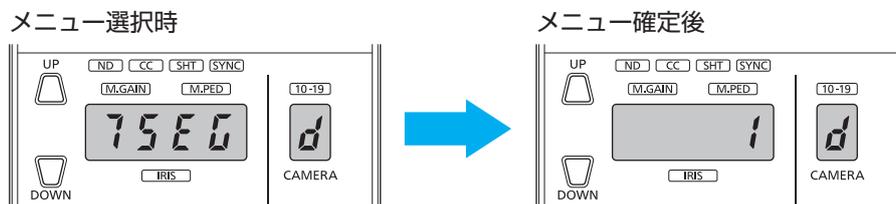
[SELECT]ダイヤルまたは[SELECT/EXIT]ボタンを押すと、ROP INFメニューの選択に戻ります。



調整値表示部/カメラ管理番号表示部の明るさ (7SEG)

調整値表示部およびカメラ管理番号表示部の明るさを調整します。[SELECT]ダイヤルを回して数値を大きくするほど、明るくなります。

[SELECT]ダイヤルまたは[SELECT/EXIT]ボタンを押すと、ROP INFメニューの選択に戻ります。

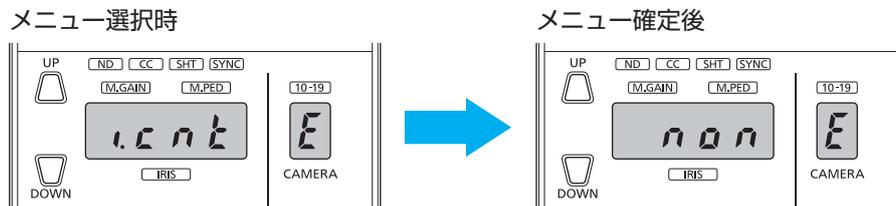


アイリス制御の優先度 (i.cnt)

カメラのアイリスの位置と、本機の[IRIS]レバーの位置が不一致の場合、アイリス制御を優先するかどうかを設定します。

[SELECT]ダイヤルを回すと設定値の変更が行えます。

[SELECT]ダイヤルまたは[SELECT/EXIT]ボタンを押すと、ROP INFメニューの選択に戻ります。

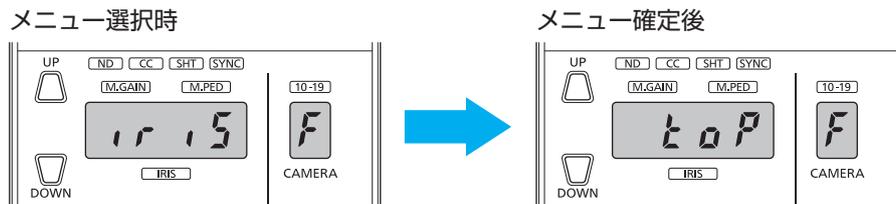


non	アイリス制御を優先しません。カメラのアイリスの位置と、本機の[IRIS]レバーの位置が不一致の場合、本機の[IRIS]レバーの位置をカメラのアイリスの位置に合わせてください。
LAn	IP接続時、カメラのアイリスの位置と本機の[IRIS]レバーの位置が不一致の場合、[IRIS]レバー位置を基準に操作します。 1台のカメラに対して複数のROPがIPで接続され、各ROPの[IRIS PRIORITY]の設定が「LAN」の場合、それぞれのROPからのアイリス操作がダイレクトに行なえてしまいますのでご注意ください。
SEr	シリアル接続時、カメラのアイリスの位置と本機の[IRIS]レバーの位置が不一致の場合、[IRIS]レバー位置を基準に操作します。

[IRIS]レバーの可動範囲 (iriS)

[IRIS]レバーの稼働範囲を調整します。OPEN端まで移動したときの位置 (Top)、CLOSE端まで移動したときの位置 (Bottom) の順に指定して、範囲を設定します。

設定の確定後はROP INFメニューの選択に戻ります。



toP	[IRIS]レバーをOPEN端まで移動したときの位置を設定します。「toP」の点滅表示中に[IRIS]レバーをOPEN端まで移動させ、[SELECT]ダイヤルを押してOPEN端を設定します。
bot	[IRIS]レバーをCLOSE端まで移動したときの位置を設定します。「bot」の点滅表示中に[IRIS]レバーをCLOSE端まで移動させ、[SELECT]ダイヤルを押してCLOSE端を設定します。

ソフトウェア

IP接続

IP接続の手順について

本機とCCUをソフトウェアを使って設定する方法について説明します。

IP接続時のシステム構成については下記のページを参照してください。

➡ 「システム接続構成」 (15ページ参照)

接続の流れ

1. **ソフトウェアのインストール**
 パーソナルコンピューターに「ROPセットアップソフトウェア」をインストールする
 ➡ 「ROPセットアップソフトウェア」 (51ページ参照)
2. **機器の接続**
 本機とCCUをPoE対応スイッチングハブ (100base-TX) 経由で、LANケーブルで接続する
 - IP設定用のパーソナルコンピューターを接続する必要があるため、必ずスイッチングハブ経由で接続してください。また、本機はPoE給電で動作いたしますので、PoE対応のスイッチングハブをご使用ください。
 ➡ 「IP接続」 (16ページ参照)
3. **パーソナルコンピューターの接続、設定**
 スwitchングハブ (100base-TX) にLANケーブルでパーソナルコンピューターを接続する
 パーソナルコンピューターのネットワーク設定を行う
 - パーソナルコンピューターのネットワーク設定は、本機、CCUと同セグメントにしてください。
 ➡ 「パーソナルコンピューターの接続、設定」 (49ページ参照)
4. **設定ファイルの保存**
 本機を使って、カメラの接続設定ファイル、および本機 (ROP) の設定ファイルをメモリーカードに保存する
 ➡ 「SAVEメニュー」 (36ページ参照)
5. **機器のIPアドレスを設定**
 接続する機器のIPアドレスを「ROPセットアップソフトウェア」で設定する
 ➡ 「ROPセットアップソフトウェア」 (51ページ参照)
6. **ROPの各種設定**
 ROPセットアップソフトウェアを使って各種設定を行う
 IP接続されているROPの各種設定が可能です。
7. **設定ファイルの読み込み**
 ROPソフトウェアで設定したカメラの接続設定ファイル、および本機 (ROP) の設定ファイルを本機に読み込む
 ➡ 「LOADメニュー」 (39ページ参照)
8. **運用を開始する**

パーソナルコンピューターの接続、設定

「ROPセットアップソフトウェア」をインストールしたパーソナルコンピューターをIP接続します。

パーソナルコンピューターのネットワーク設定を行います。

パーソナルコンピューターのネットワーク設定は、接続する機器と同一セグメントに設定してください。

推奨設定は以下のとおりです。

IPアドレス	192.168.0.200 <ul style="list-style-type: none"> • 他の機器と重複している場合は変更してください。
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1

機器のIPアドレスの設定

ROPセットアップソフトウェアを使用して設定します。

➡ 「ROPセットアップソフトウェア」 (51ページ参照)

ROPの各種設定

ROPセットアップソフトウェアを使用して、各種設定を行います。

➡ 「ROPセットアップソフトウェア」 (51ページ参照)

ROPセットアップソフトウェア

ROPセットアップソフトウェア (Setup Software) は、本機とCCUとの接続設定をパーソナルコンピュータから行うためのソフトウェアです。各項目を一覧で確認しながら、設定を行うことができます。

本機との設定のやりとりは、メモリーカードに保存した設定ファイルを使って行います。設定を行うときは、あらかじめ本機で設定ファイル（接続設定ファイルおよびROP設定ファイル）をメモリーカードに保存し、パーソナルコンピュータへ装着してください。

NOTE

- Setup Softwareを使ってパーソナルコンピュータで設定を行っているときは、下記内容に注意してください。
 - 本機（ROP）の操作を行わないでください。
 - 同一ネットワーク上の他のコンピュータで、Setup Softwareを起動させないでください。

ソフトウェアをインストールする

Setup Softwareのインストール方法について説明します。

ソフトウェアについては、下記Web サイトのサポートデスクから入手することができます。

（日本語） https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

（英語） <https://pro-av.panasonic.net/>

1. Web サイトのサポートデスクから、Setup Software のzip ファイルをダウンロードします。
2. ダウンロードしたzip ファイルをダブルクリックして解凍します。
「Readme.txt」を必ずお読みのうえ、ソフトウェアをインストールしてください。
3. 「Setup Software」フォルダー内の「HRP250Tool.exe」をダブルクリックしてSetup Softwareを起動させます。

パーソナルコンピュータの設定を行う

本機と接続する前に、パーソナルコンピュータに対して以下の設定を行ってください。

IPアドレス：本機や、同じサブネット内に接続されている機器に設定されているIPアドレスと重複しないように設定してください。

サブネットマスク：本機に設定されているサブネットマスクと同一のものを設定してください。

デフォルトゲートウェイ：本機に設定されているデフォルトゲートウェイと同一のものを設定してください。

本機に設定されているIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、ROP INFメニューで確認してください。

- ➡ 「IPアドレスの表示 (iP) 」 (46ページ参照)
- ➡ 「サブネットマスクの表示 (Sb) 」 (46ページ参照)
- ➡ 「デフォルトゲートウェイの表示 (dF) 」 (46ページ参照)

ROPセットアップソフトウェアの画面

[Configuration]タブ、[Camera List]タブ、[Auto IP Cam Assign]タブ、[User Auth]タブの画面で各種設定ができます。

SETTING ITEM	DATA			
IP ADDRESS	192	168	0	130
SUBNET MASK	255	255	255	0
DEFAULT GATEWAY	192	168	0	1
RECEIVE PORT	35200			
DISPLAY BRIGHTNESS LED	2			
DISPLAY BRIGHTNESS SEGMENT DISPL	2			
BUZZER	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off			
TALLY ENABLE	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off			
TALLY INPUT	No Asia			
TALLY CONTROL(Camcorder Only)	<input checked="" type="radio"/> Panel <input type="radio"/> Preview PORT			
IRIS Priority	<input checked="" type="radio"/> Non <input type="radio"/> LAN <input type="radio"/> Serial			

ALL CLEAR LOAD SAVE

ROPセットアップソフトウェアを起動したときは、[Configuration]タブが最初に表示されます。必要なタブをクリックして切り替え、登録や設定を行ってください。

ROPセットアップソフトウェアのご使用に関するお知らせ

ROPセットアップソフトウェアを使ってパーソナルコンピューターで設定を行っているときは、以下の内容にご注意ください。

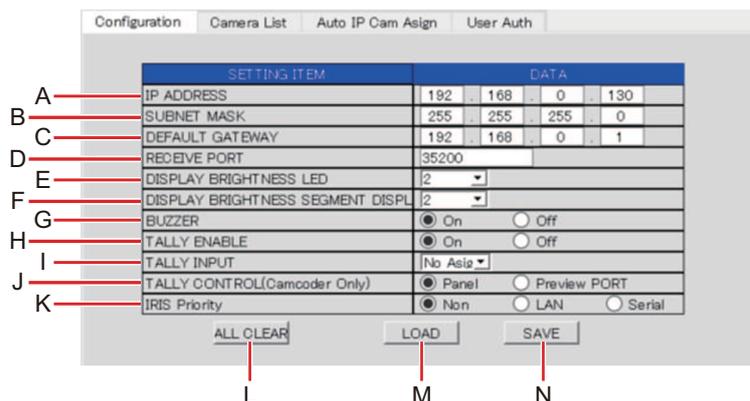
- 同一ネットワーク上の他のパーソナルコンピューターで、ROPセットアップソフトウェアを起動させないでください。
- セットアップソフトウェアで接続設定を行った場合、設定データをバックアップすることをお勧めします。
➔ 「SAVEメニュー」（36ページ参照）

本機の機器設定を行う [Configuration]

本機の設定を行います。表示内容を保存するには[SAVE]ボタン (N) をクリックします。

本体で保存したROP設定ファイルを読み込む場合は[LOAD]ボタン(M)をクリックし、読み込み画面からファイルを読み込みます。

設定を行うときは、あらかじめ本機のROP設定ファイルをメモリーカードに保存し、パーソナルコンピューターへ装着してください。



項目	内容
A	IP ADDRESS IPアドレスを設定します。
B	SUBNET MASK サブネットマスクを設定します。
C	DEFAULT GATEWAY デフォルトゲートウェイを設定します。
D	RECEIVE PORT 受信ポートを設定します。
E	DISPLAY BRIGHTNESS LED ボタンやインジケーターが点灯したときの明るさを調整します。
F	DISPLAY BRIGHTNESS SEGMENT DISPLAY 調整値表示部およびカメラ管理番号表示部の明るさを調整します。
G	BUZZER 操作時のブザーのON/OFFを設定します。
H	TALLY ENABLE タリー通知のON/OFFを設定します。ONに設定すると、本機に入力されたタリーがカメラに通知されます（将来拡張用の設定です。スタジオカメラシステムとの接続時は使用できません）。
I	TALLY INPUT 本機に入力されたタリーをどのカメラに通知するか、カメラ管理番号で設定します。「No ASSIGN」または1～19が設定できます（将来拡張用の設定です。スタジオカメラシステムとの接続時は使用できません）。
J	TALLY CONTROL タリーの設定入力か、本機の[TALLY/CALL]ボタンによって通知するかを設定します（将来拡張用の設定です。スタジオカメラシステムとの接続時は使用できません）。
K	IRIS Priority カメラのアイリスの位置と、本機の[IRIS]レバーの位置が不一致の場合、アイリス制御を優先するかどうかを設定します。 Non： アイリス制御を優先しません。カメラのアイリスの位置と、本機の[IRIS]レバーの位置が不一致の場合、本機の[IRIS]レバーの位置をカメラのアイリスの位置に合わせてください。 LAN： IP接続時、カメラのアイリスの位置と本機の[IRIS]レバーの位置が不一致の場合、[IRIS]レバー位置を基準に操作します。1台のカメラに対して複数のROPがIPで接続され、各ROPの[IRIS Priority]の設定が「LAN」の場合、それぞれのROPからのアイリス操作がダイレクトに行なえてしまいますのでご注意ください。 Serial: シリアル接続時、カメラのアイリスの位置と本機の[IRIS]レバーの位置が不一致の場合、[IRIS]レバー位置を基準に操作します。
L	ALL CLEAR 表示しているすべての設定値を初期状態に戻します。

項目		内容
M	LOAD	読み込み画面を表示して、メモリーカードから本機のROP設定ファイルを読み込みます。
N	SAVE	表示内容を、ROP設定ファイルとしてメモリーカードに保存します。

NOTE

- 本機のROP設定ファイルはメモリーカードの以下の場所に保存されます。
¥PRIVATE¥MEIGROUP¥PAVCN¥SBG¥SYSCAM¥HRP250¥DATA¥
ファイル名：CONFIG.r25

カメラとの接続設定をする [Camera List]

本機とネットワークに接続されているCCUとの接続設定を行います。表示内容を保存するには[SAVE]ボタン (H) をクリックします。

本体で保存された接続設定ファイルを読み込む場合は[LOAD]ボタン(G)をクリックし、読み込み画面からファイルを読み込みます。

設定を行うときは、あらかじめ本機で接続設定ファイルをメモリーカードに保存し、パーソナルコンピューターへ装着してください。



項目		内容
A	CAMERA NO	カメラ管理番号を表示します。
B	CAMERA TYPE	接続方法を設定します。 「Serial」および「Serial(AK)」：CCUとのシリアル接続 「NetWork」および「NetWork(AK)」：CCUとのIP接続 「NoAssign」：設定なし（初期値） ● 「Serial」、「NetWork」はAK-HC3900シリーズ、AK-UC3300シリーズと接続するとき に選択します。 ● 「Serial(AK)」、「NetWork(AK)」は、AK-HC3800シリーズと接続するときを選択します (将来本機のバージョンアップで対応予定)。 ● 複数のカメラを「Serial」、「Serial(AK)」に設定することはできません。
C	IP ADDRESS	IPアドレスを表示します。
D	CAMERA PORT NO	接続先とするCCUのポート番号（1～65535）を設定します。 ● 以下のポート番号は設定できません。 20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、995、 10669、10670
E	SWAP CAMERA	カメラ管理番号を指定して、接続先の設定を入れ替えます。
F	ALL CLEAR	表示しているすべての設定値を初期状態に戻します。

項目		内容
G	LOAD	読み込み画面を表示して、メモリーカードから接続設定ファイルを読み込みます。あらかじめ、本機のSAVEメニューから接続設定ファイルをメモリーカードに保存してください。
H	SAVE	表示内容を、接続設定ファイルとしてメモリーカードに保存します。保存したファイルは、LOADメニューを使って本機に読み込んでください。

NOTE

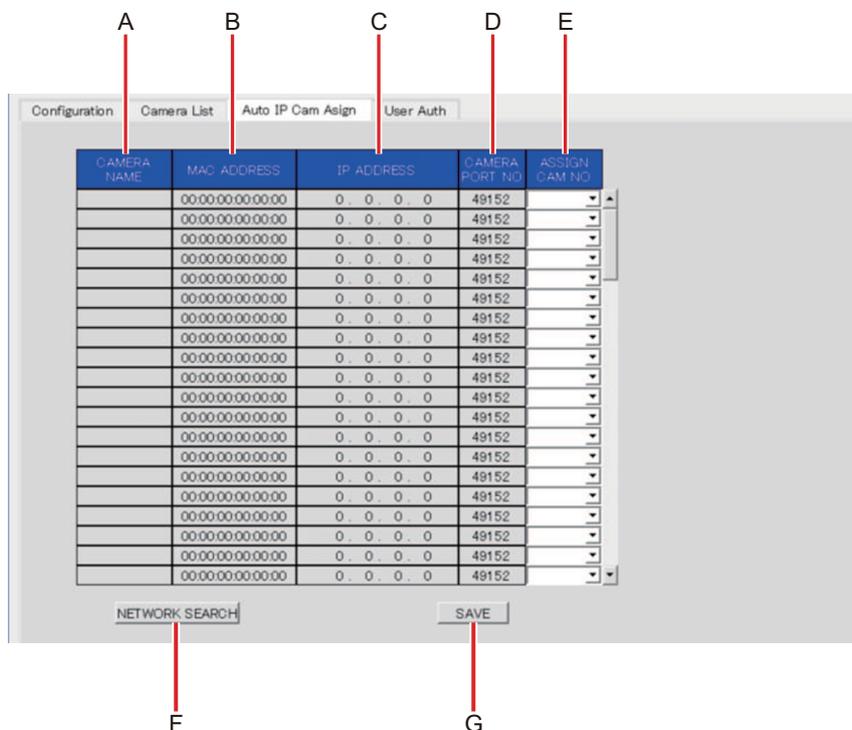
- 接続設定ファイルはメモリーカードの以下の場所に保存されます。
¥PRIVATE¥MEIGROUP¥PAVCN¥SBG¥SYSCAM¥HRP250¥DATA¥
ファイル名：NETWORK.s25

ネットワーク上にあるカメラの情報を取得する [Auto IP Cam Assign]

同一セグメントにあるカメラの、ネットワーク情報を取得します。[NETWORK SEARCH]ボタン (F) をクリックすると、カメラのネットワーク情報を取得して画面に表示します。

[ASSIGN CAM NO] (E) から、カメラ管理番号を割り当てることができます。

設定を行うときは、あらかじめ本機で接続設定ファイルをメモリーカードに保存し、パーソナルコンピューターへ装着してください。



項目		内容
A	CAMERA NAME	カメラの名前を表示します。
B	MAC ADDRESS	カメラのMACアドレスを表示します。
C	IP ADDRESS	カメラのIPアドレスを表示します。
D	CAMERA PORT NO	カメラのポート番号を表示します。
E	ASSIGN CAM NO	割り当てられたカメラ管理番号を表示します。クリックしてカメラ管理番号を変更することができます。
F	NETWORK SEARCH	同一セグメントにあるカメラのネットワーク情報を取得します。
G	SAVE	表示内容を、接続設定ファイルとしてメモリーカードに保存します。保存したファイルは、LOADメニューを使って本機に読み込んでください。

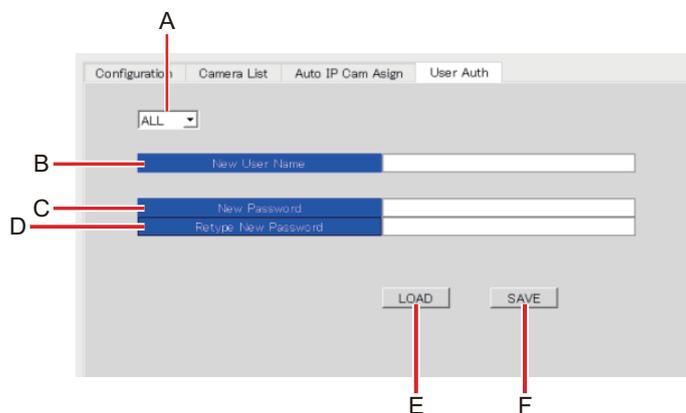
NOTE

- 接続設定ファイルはメモリーカードの以下の場所に保存されます。
¥PRIVATE¥MEIGROUP¥PAVCN¥SBG¥SYSCAM¥HRP250¥DATA¥
ファイル名：NETWORK.s25

ユーザー認証の設定を行う [User Auth]

ユーザー認証機能が有効になっているCCUと接続するためには、ユーザー名とパスワードを本機に設定する必要があります。この設定は、本ソフトウェアの[User Auth]タブで行います。CCUの取扱説明書もあわせて参照してください。

設定を行うときは、あらかじめ本機で接続設定ファイルをメモリーカードに保存し、パーソナルコンピューターへ装着してください。



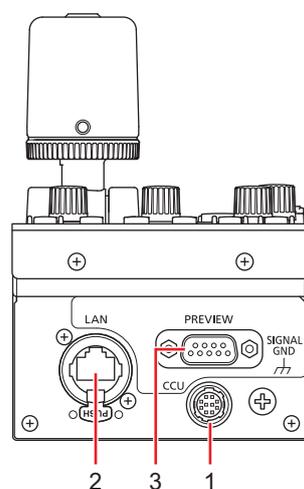
項目		内容
A	設定対象選択リストボックス	設定を行うカメラを選択します。「ALL」、「CAM01」～「CAM19」から選択できます。「ALL」を選択するとすべてのカメラを一括して設定できます。「CAM01」～「CAM19」を選択したときには、カメラ管理番号ごとに設定ができます。
B	New User Name	新しく設定するユーザー名を入力します。接続先に設定されているユーザー名を入力してください。
C	New Password	新しく設定するパスワードを入力します。接続先に設定されているパスワードを入力してください。 <ul style="list-style-type: none"> 入力された文字は「●」で表示されます。
D	Retype New Password	[New Password]と同じパスワードを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 入力された文字は「●」で表示されます。
E	LOAD	読み込み画面を表示して、メモリーカードから接続設定ファイルを読み込みます。あらかじめ、本機のSAVEメニューから接続設定ファイルをメモリーカードに保存してください。
F	SAVE	設定した内容を、接続設定ファイルとしてメモリーカードに保存します。保存したファイルは、LOADメニューを使って本機に読み込んでください。

NOTE

- 接続設定ファイルはメモリーカードの以下の場所に保存されます。
¥PRIVATE¥MEIGROUP¥PAVCN¥SBG¥SYSCAM¥HRP250¥DATA¥
ファイル名：NETWORK.s25

資料

コネクタピンサイン表



1 〈CCU〉コネクタ

(ヒロセ電機製：HR10A-10R-10PC (71))

ピン番号	機能	極性	信号の流れ
1	CAM DATA (H)	+	CAM→ROP
2	CAM DATA (L)	-	CAM→ROP
3	CAM CONT (H)	+	ROP→CAM
4	CAM CONT (L)	-	ROP→CAM
5	NC		
6	NC		
7	NC		
8	NC		
9	12 V		
10	GND		

2 〈LAN〉コネクタ

(アンフェノール製：RJX8FB5HGYEB)

100base-TX準拠です。

PoE規格対応のネットワーク機器 (IEEE802.3af準拠) と接続できます。

3 〈PREVIEW〉コネクタ

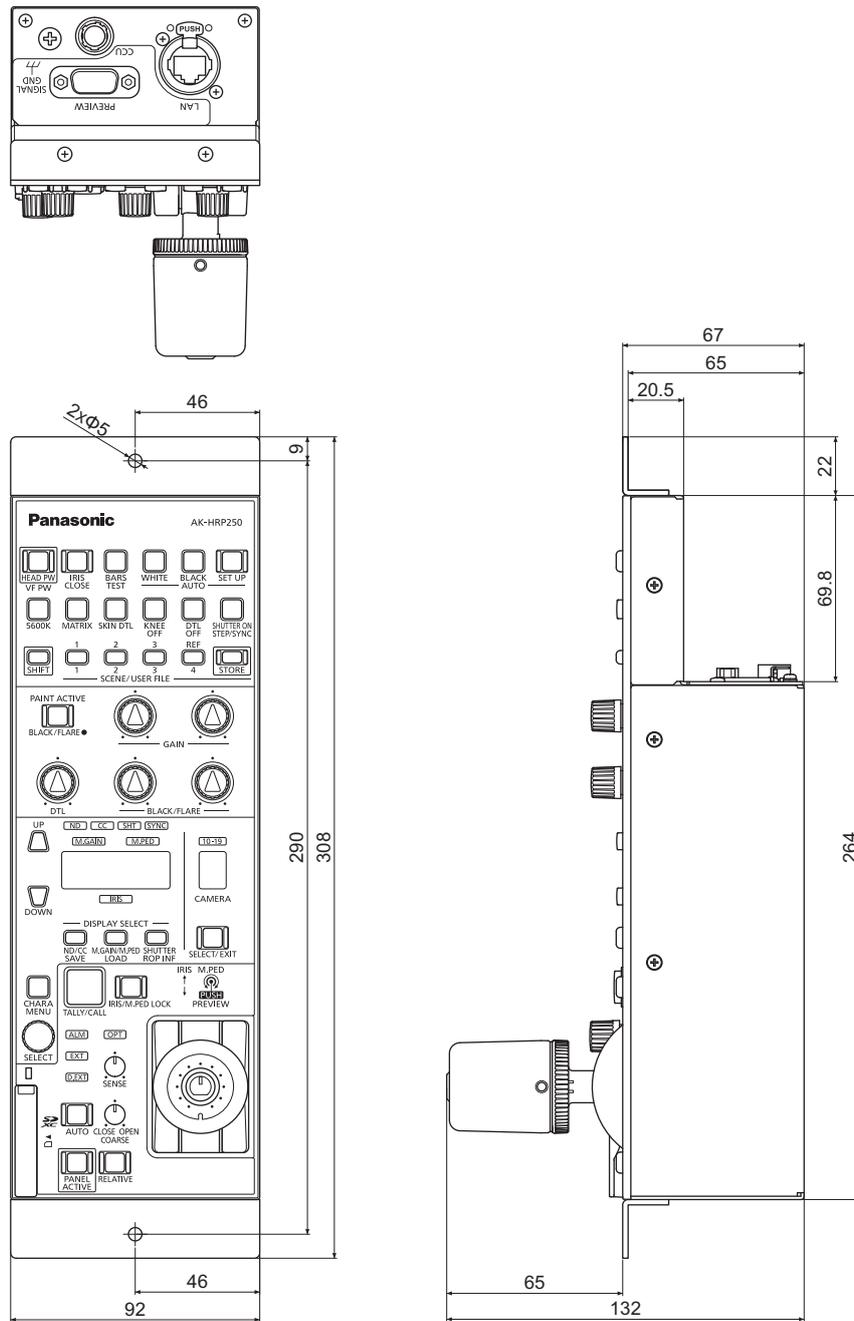
(日本圧着端子製造製：JEY-9S-1A3F(LF))

ピン番号1、2は、プレビュー信号を出力するコネクタです。[IRIS]レバーを押している間、接点出力します。無電圧メーク接点です。

ピン番号	機能	信号の流れ	備考
1	P.VIEW COM	ROP→外部制御	無電圧メーク
2	P.VIEW 1		
3	NC		
4	NC		
5	NC		
6	NC		
7	NC		
8	TALLY IN	TALLY→ROP	無電圧メーク (将来拡張用です。スタジオカメラシステムとの接続時は使用できません)
9	GND		

外形寸法図

単位：mm



保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（同梱印刷物に添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間 [8年]

当社は、リモートオペレーションパネルの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除し、SDメモリーカードを外して、ご依頼ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいのうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	リモートオペレーションパネル
品番	AK-HRP250G
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

総合

電源	DC (≡) 12 V (カメラ給電DC10 V - 16 V) DC (≡) 42 V - 57 V (PoE電源)
消費電流	0.51 A (カメラ給電DC10 V - 16 V) 0.15 A (PoE電源)

 は安全項目です。

カメラ/CCU制御	コントロール信号 (カメラ本体 / CCU制御) 電源給電 DC16 V (CCU接続時) *1、DC12 V (カメラ接続時) *1
制御ケーブル最大延長距離	カメラ本体接続時 : 20 m CCU接続時 : 50 m
動作温度	0 °C ~ 40 °C
保存温度	-20 °C ~ 60 °C
湿度	90%以下
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	92 mm × 308 mm × 67 mm (突起含まず)
質量	約1.4 kg

*1 : CCUから給電可

索引

- **A**
 - ALMインジケータ 22
 - AUTO BLACKボタン 18
 - AUTO SET UPボタン 18, 25
 - AUTO WHITEボタン 17
 - AUTOボタン 23, 33-34
- **B**
 - BARS/TESTボタン 17
 - BLACK/FLARE (PAINT ACTIVE) ボタン .. 19, 27
 - BLACK/FLAREダイヤル 19, 27
- **C**
 - CCU 15
 - CCインジケータ 20, 29
 - CCフィルター 29
 - CHARA/MENUボタン 21
 - COARSEダイヤル 23, 33
- **D**
 - D.EXTインジケータ 22
 - DTL OFFボタン 18
 - DTLダイヤル 19, 27
- **E**
 - EXTインジケータ 22
- **G**
 - GAINダイヤル 19, 27
- **H**
 - HEAD PW/VF PWボタン 17
- **I**
 - IPアドレス 46, 52
 - IP接続 16, 49
 - IRIS 33
 - IRIS CLOSEボタン 17, 33
 - IRIS/M.PED LOCKボタン 22, 32-33
 - IRISインジケータ 20, 33
 - IRISレバー 23, 33-34
- **K**
 - KNEE OFFボタン 18
- **L**
 - LOADメニュー 39
 - LOADメニュー一覧 40
- **M**
 - M.GAIN 30
 - M.GAIN/M.PED (LOAD) ボタン 21, 30, 39
 - M.GAINインジケータ 20, 30
 - M.PED 32
 - M.PEDインジケータ 20, 32
 - M.PEDダイヤル 23, 32
 - MACアドレス 46
 - MATRIXボタン 18
- **N**
 - ND/CC (SAVE) ボタン 20, 28-29, 36
 - NDインジケータ 20, 28
 - NDフィルター 28
- **O**
 - OPTインジケータ 22
- **P**
 - PAINT LOCK 27
 - PANEL ACTIVEボタン 23
 - PREVIEWボタン 23
- **R**
 - RELATIVEボタン 23, 33
 - ROP INFメニュー 42
 - ROP INFメニュー一覧 43
 - ROPセットアップソフトウェア 51
- **S**
 - SAVEメニュー 36
 - SAVEメニュー一覧 37
 - SELECT/EXITボタン 21, 35
 - SELECTダイヤル 21
 - SENSEダイヤル 22, 33
 - SHIFTボタン 18, 36, 39, 42
 - SHTインジケータ 20, 31
 - SHUTTER 31
 - SHUTTER ON (STEP/SYNC) ボタン 18, 31
 - SHUTTER (ROP INF) ボタン 21, 31, 42
 - SKIN DTLボタン 18
 - STOREボタン 18, 26
 - SYNCインジケータ 20, 31
- **T**
 - TALLY/CALLボタン 22
- **U**
 - UP/DOWNボタン 20

あ	
アイリス	33, 48, 52
オートセットアップ	25
か	
カメラ管理番号表示部	21
カメラの選択	35
カメラ番号の変更	44
コネクター	24, 56
さ	
サブネットマスク	46, 52
シーンファイル	26
システム接続	15
システムバージョン	47
シャッター	31
受信ポート	46, 52
シリアル接続	15
接続設定 (カメラ)	53
接続設定 (本体)	14, 52
設定の初期化	47
た	
タリー通知	45, 52
調整値表示部	20
デフォルトゲートウェイ	46, 52
動作モード	14
は	
表示部の明るさ	47, 52
ブザー	45, 52
ま	
マスターゲイン	30
マスターペダスタル	32
メモリーカード	9
メモリーカードアクセスインジケータ	23
メモリーカードからの読み込み	39
メモリーカードスロット	23
メモリーカードの初期化	36, 39
メモリーカードへの保存	36
ら	
ラックマウント	13
番号	
1/2/3/4 (SCENE/USER FILE) ボタン	18, 26
10-19インジケータ	21, 35
5600Kボタン	18

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2020-2022